取扱説明書（日野編）

もくじ

ご使用になる前に 2

はじめに 3

安全にご利用になるために 4

診断機能 6

作業サポート機能 7

≪作業サポート「DPR強制再生」≫ 12
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫ 16
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫ 17
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫ 20
≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫ 21
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫ 23
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫ 25
≪作業サポート「DPR状態表示」≫ 27
≪作業サポート「VNT点検」≫ 29
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫ 31
≪作業サポート「ターボ点検」≫ 33
≪作業サポート「EGR点検」≫ 35
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫ 37
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫ 39
≪作業サポート「車速設定」≫ 42
≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫ 43
≪作業サポート「エア抜き」≫ 44
≪作業サポート「モード使用頻度」≫ 45
≪作業サポート「時計セット」≫ 48

ご使用になる前に

はじめに.....3
安全にご利用になるために.....4

はじめに

本取扱説明書では、日野車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。本体の基本的な操作は、本体の取扱説明書をご覧ください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

⚠ 警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

⚠ 注意

- 日野車または、日野製造のOEM車以外に使用しないでください。

診断機能

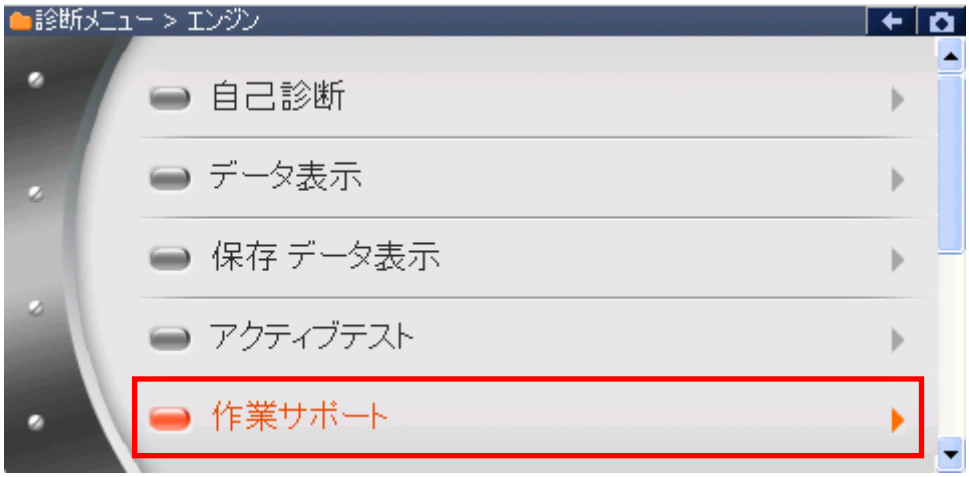
作業サポート機能 7
≪作業サポート「DPR強制再生」≫ 12
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫ 16
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫ 17
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫ 20
≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫ 21
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫ 23
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫ 25
≪作業サポート「DPR状態表示」≫ 27
≪作業サポート「VNT点検」≫ 29
≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫ 31
≪作業サポート「ターボ点検」≫ 33
≪作業サポート「EGR点検」≫ 35
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫ 37
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫ 39
≪作業サポート「車速設定」≫ 42
≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫ 43
≪作業サポート「エア抜き」≫ 44
≪作業サポート「モード使用頻度」≫ 45
≪作業サポート「時計セット」≫ 48

作業サポート機能

⚠ 警告

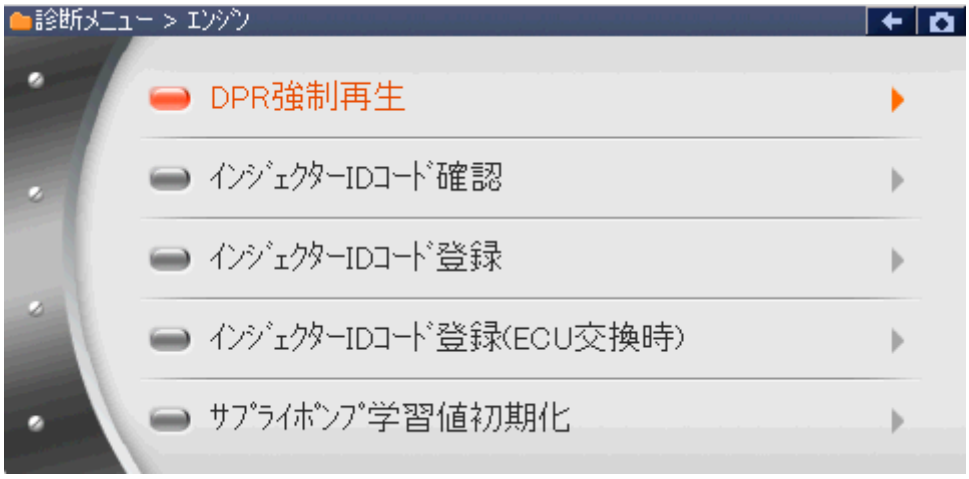
- 作業サポートは日野のサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1）診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。

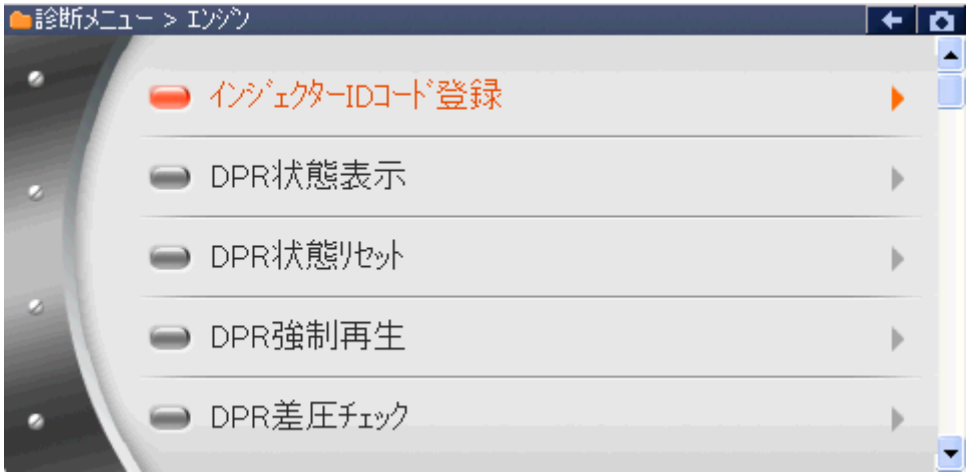


〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2）作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ENTER ボタンを押してください。

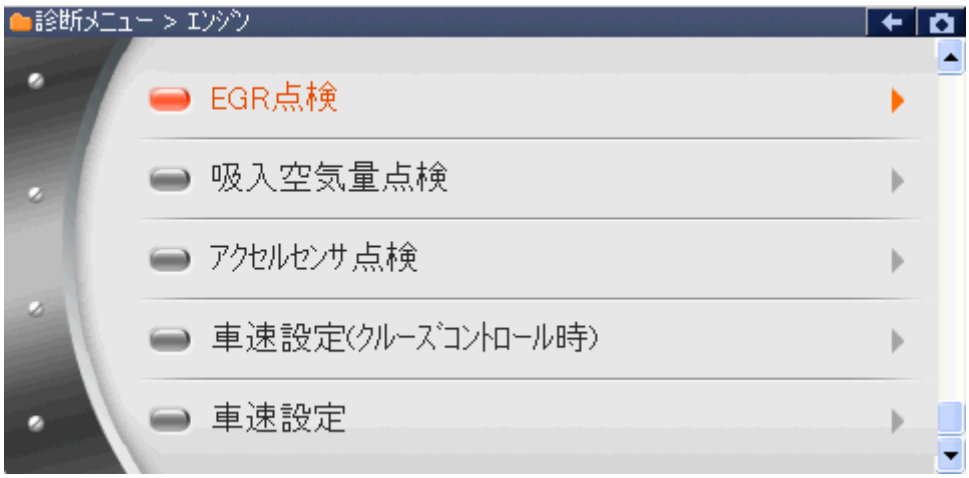


〈図：エンジン作業サポート項目選択画面1〉



〈図：エンジン作業サポート項目選択画面2〉

〈図:エンジン作業サポート項目選択画面3〉



〈図:エンジン作業サポート項目選択画面4〉

DPR強制再生 ： DPR強制再生を実施します。
※ 所要時間 = 約20分

インジェクターIDコード確認 ： 各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。
※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。

インジェクターIDコード登録 ： 各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。

インジェクターIDコード登録(ECU交換時)： ECU交換時に各気筒のインジェクターIDコードを登録する際に使用します。
※車種「デュトロ」のみ本機能を搭載しています。

サプライポンプ学習値初期化 ： サプライポンプ学習値の初期化を行います。

サプライポンプ機差学習値初期化 ： サプライポンプ学習値の初期化を行います。

DPR状態表示： DPRの状態を表示します。

DPR状態リセット： DPRの状態をリセットします。

DPR差圧チェック： DPRの詰まり具合をチェックします。

VNT点検： VNT（バリアブルノズルターボチャージャー）の点検を行います。

燃料漏れ点検： 燃料漏れがないかどうかの点検を行います。

ターボ点検： ターボチャージャーの点検を行います。

EGR点検： EGRの点検を行います。

吸入空気量点検： 吸入空気量の点検を行います。

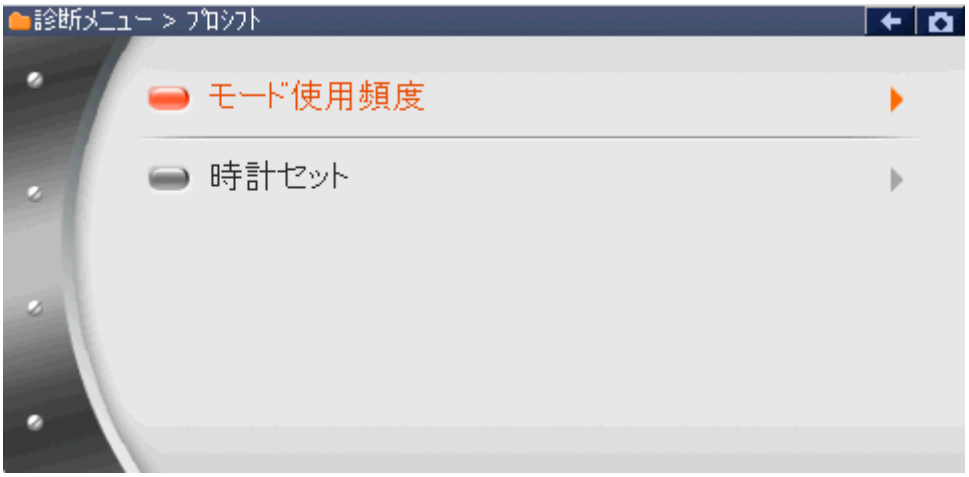
アクセルセンサ点検： アクセルセンサの点検を行います。

車速設定(クルーズコントロール時)： クルーズコントロール時の最大車速設定を行います。

車速設定： 最大車速設定を行います。

〈図:ABS作業サポート項目選択画面〉

エア抜き ： エア抜き、ブレーキフルードの交換要領の方法を記載しています。



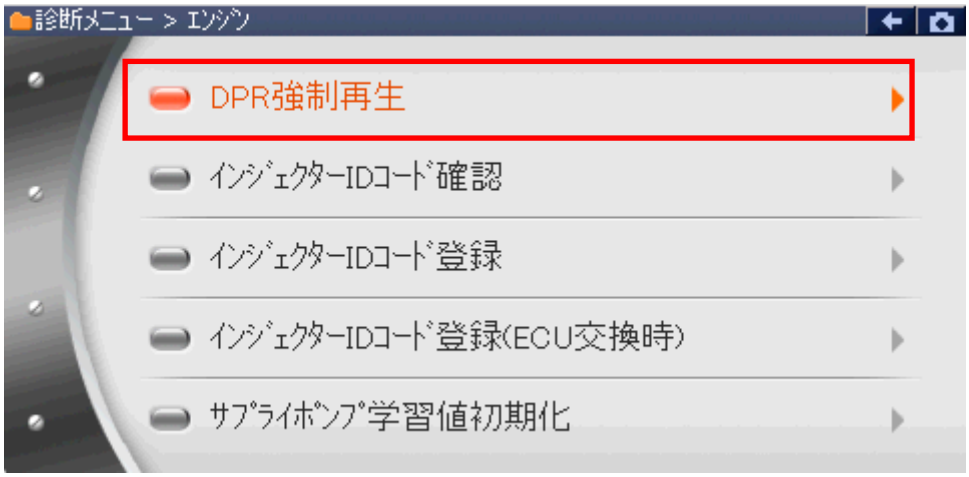
〈図:プロシフト作業サポート項目選択画面〉

モード使用頻度 ： モード使用頻度の確認とリセット、リセット履歴の確認を行います。

時計セット ： ECUに内蔵された時計のセットを行います。

≪作業サポート「DPR強制再生」≫

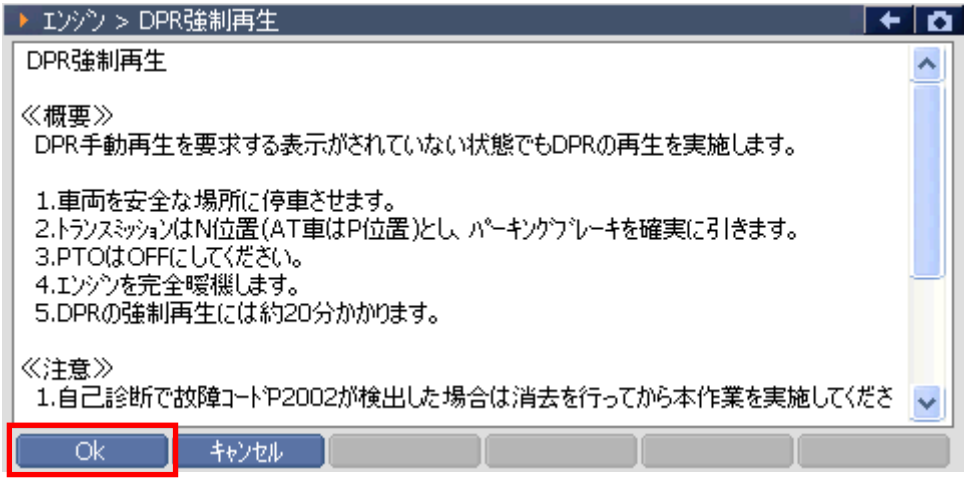
1）作業サポート項目選択画面から『DPR強制再生』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR強制再生』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。

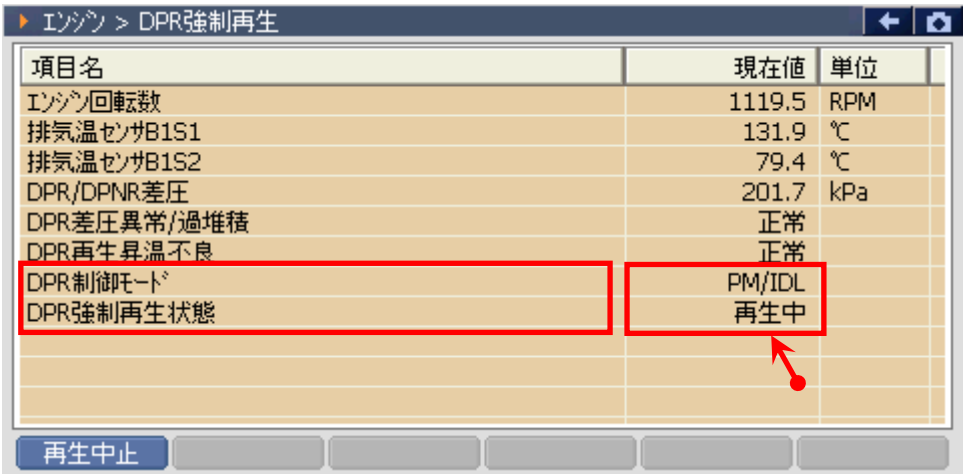


〈図：注意メッセージ画面　DPR強制再生〉

※注意と補足※

・ 自己診断で故障コードP2002が検出した場合は消去を行ってから本作業を実施してください。消去するには一度バッテリケーブルを外し、1分以上放置してください。

3）『DPR強制再生』の実行画面に移ります。DPR強制再生中の状態が表示されます。

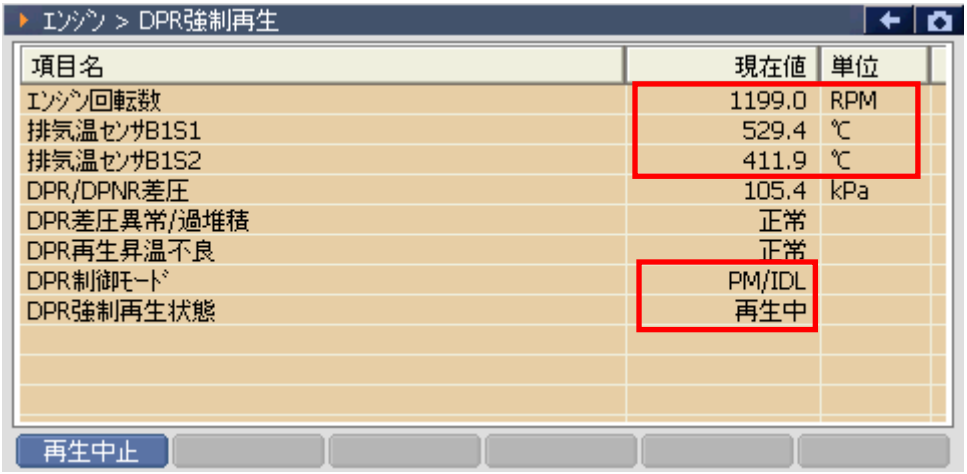


〈図：実行画面　DPR強制再生〉

※ 注意と補足※

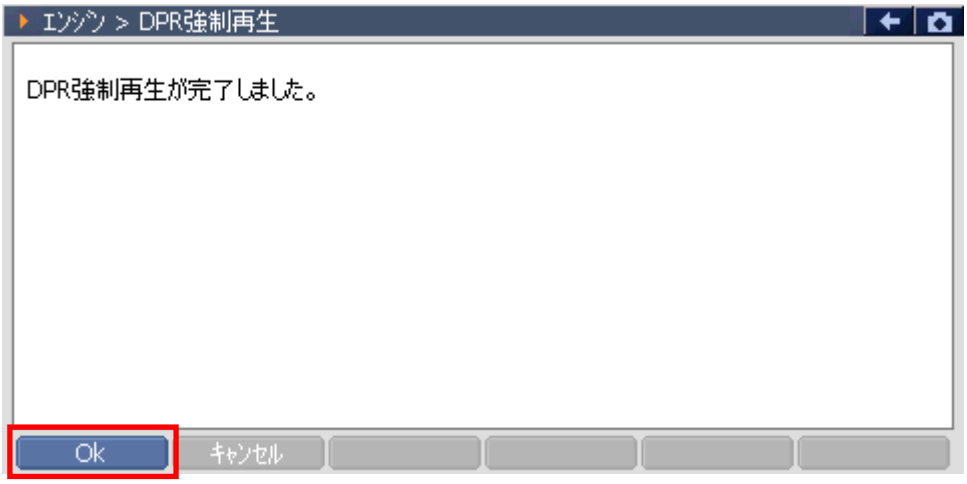
・　以下、DPR再生強制再生の例を示します。車両により状態遷移が異なる場合があります。

DPR強制再生開始後、自動的にエンジン回転数が上がり、徐々に排気温センサ値が上昇します。



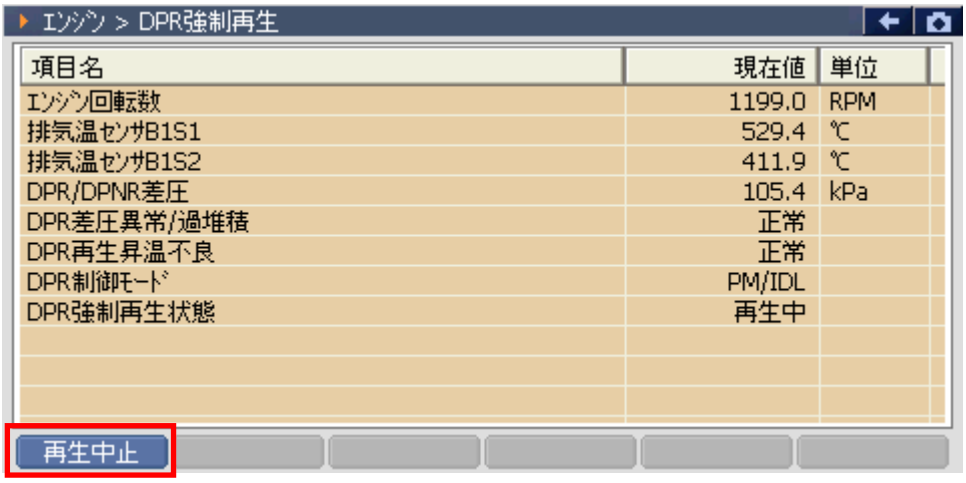
〈図：実行画面　DPR強制再生〉

4）約20分経過後、エンジン回転速度が下がりDPR再生完了メッセージが表示されますので、Ok ボタンを押してDPR再生を完了してください。



〈図：完了画面　DPR強制再生〉

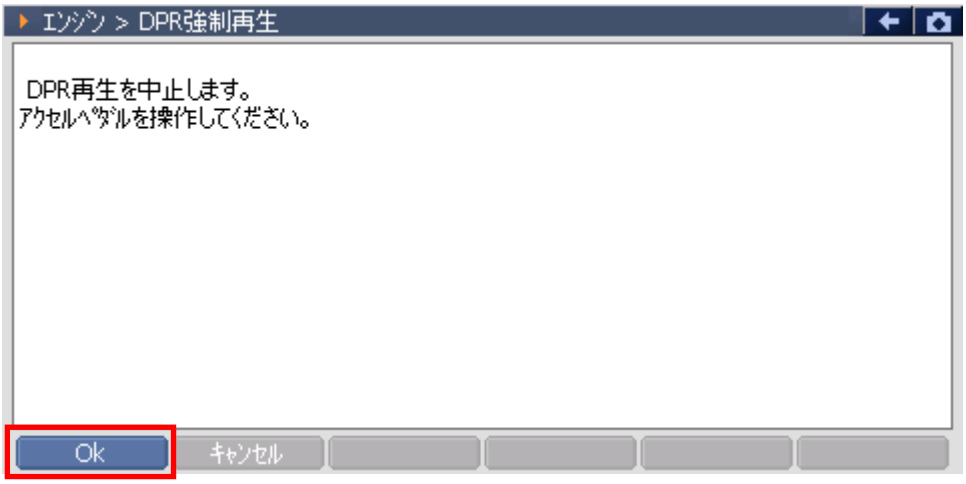
5）やむを得ず、『DPR強制再生』を途中で中止する場合は 再生中止 ボタンを押してください。



〈図：実行画面　DPR強制再生〉

6）再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。

Ok ボタンを押してDPR強制再生を中止してください。



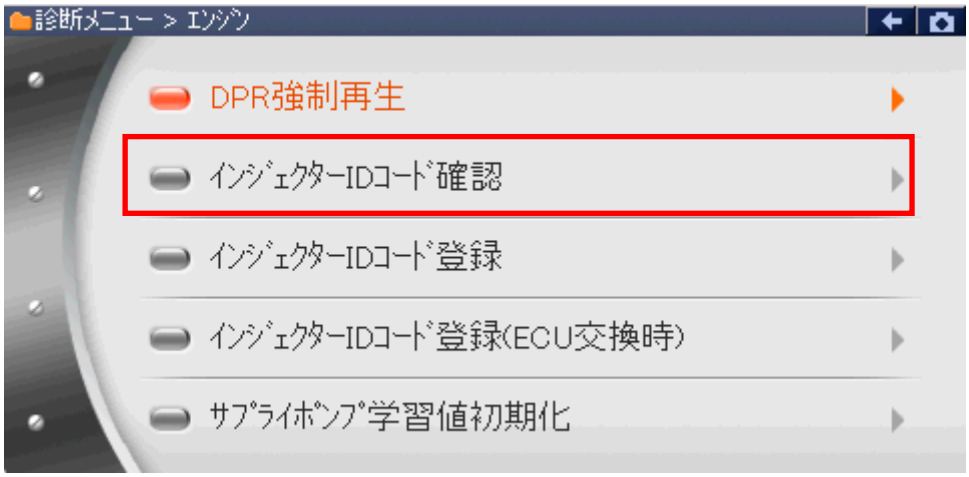
〈図：再生中止画面　DPR強制再生〉

※注意と補足※

- 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

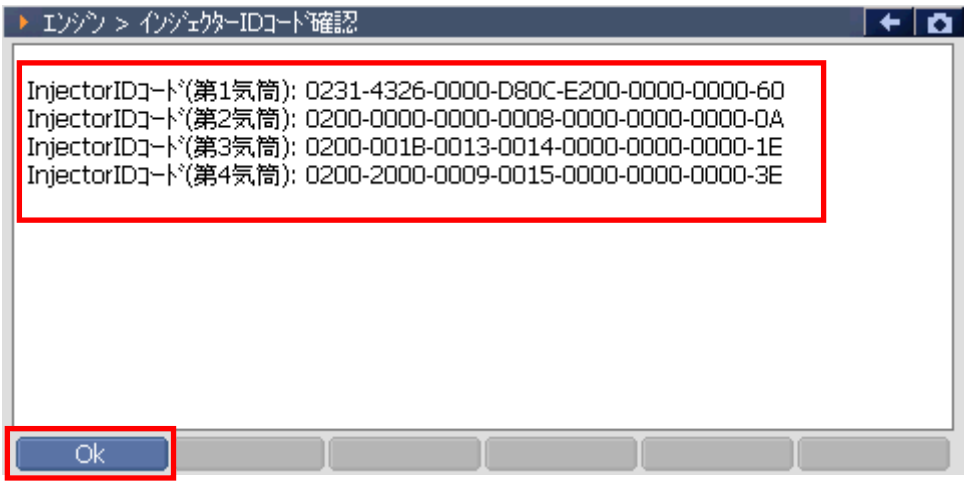
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

1）作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

1）インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ Ok ボタンを押し、インジェクターIDコード確認を終了してください。

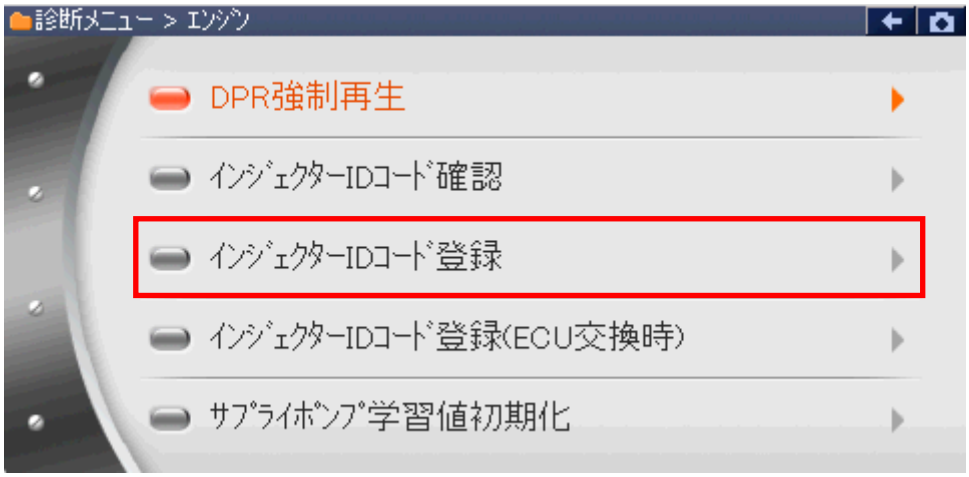


〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード確認（4気筒）〉

≪作業サポート「インジェクターIDコード登録」≫

1）作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード登録』を選択して

ENTER ボタンを押してください。

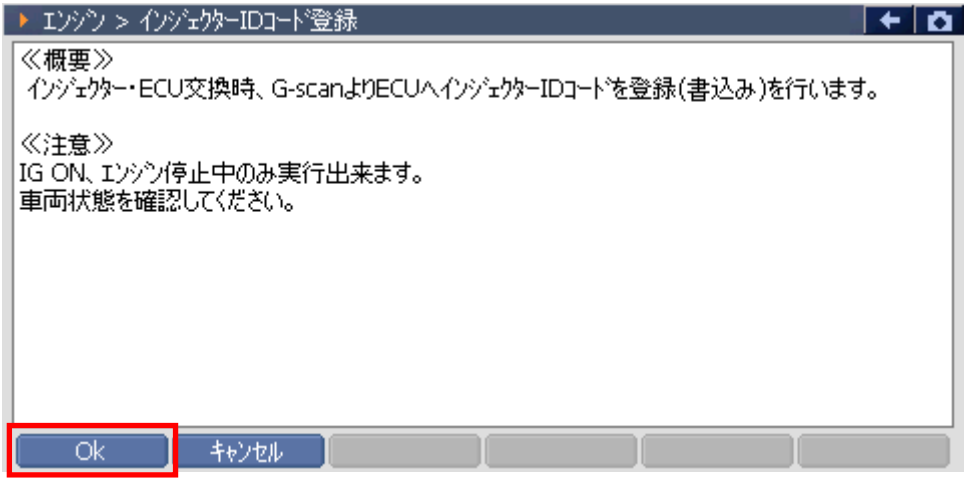


〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『インジェクターIDコード登録』の注意メッセージ画面に移ります。

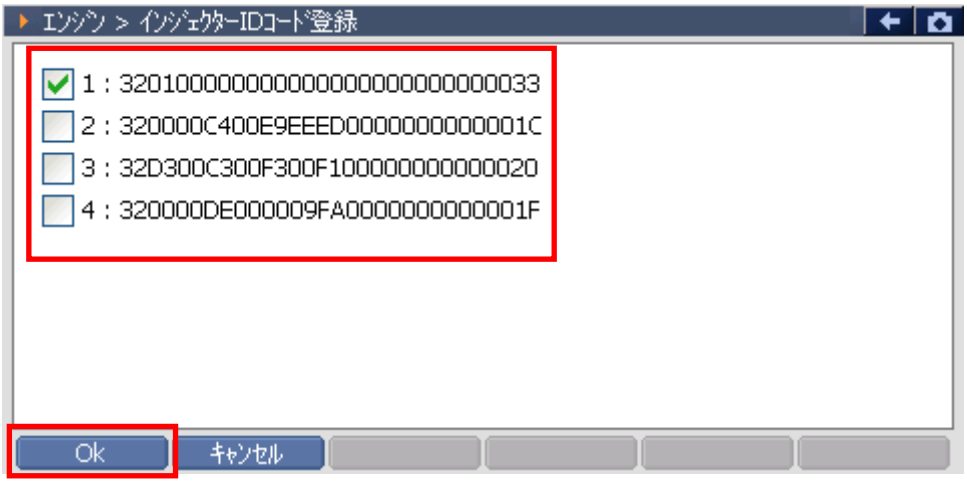
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ

Ok ボタンを押してください。



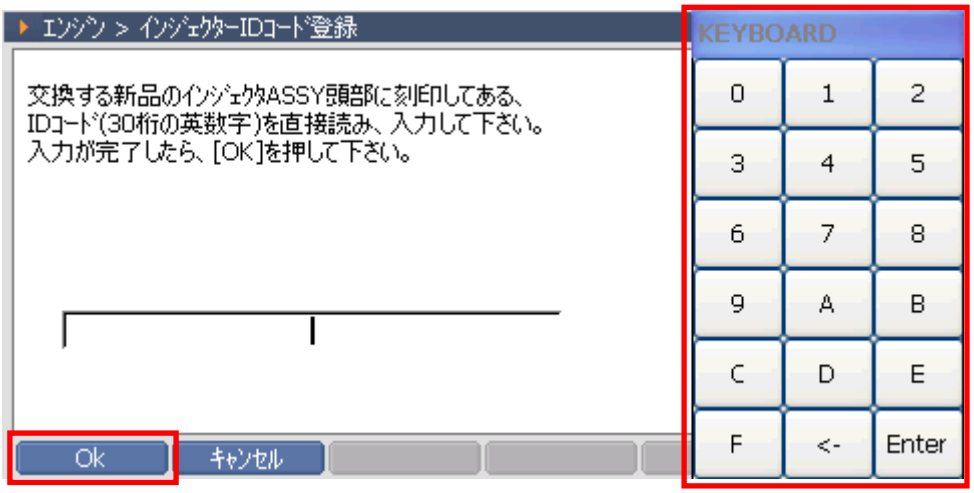
〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード登録〉

3）交換するインジェクターの気筒を選択します。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：気筒選択画面　インジェクターIDコード登録〉

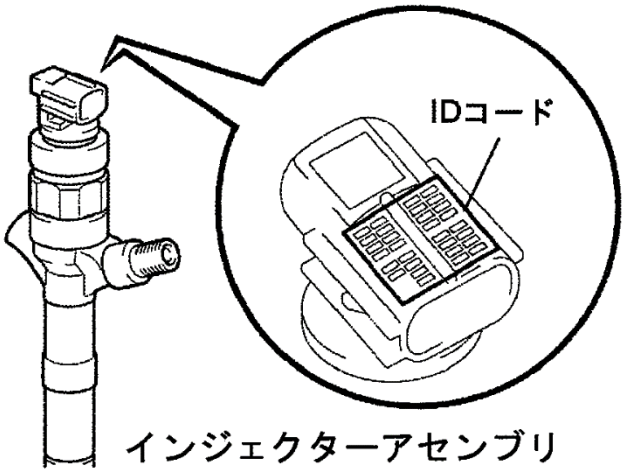
4）KEYBOARDを押して、インジェクターに刻印してある30桁のインジェクターIDコードを入力します。よろしければ Ok ボタンを押してください。



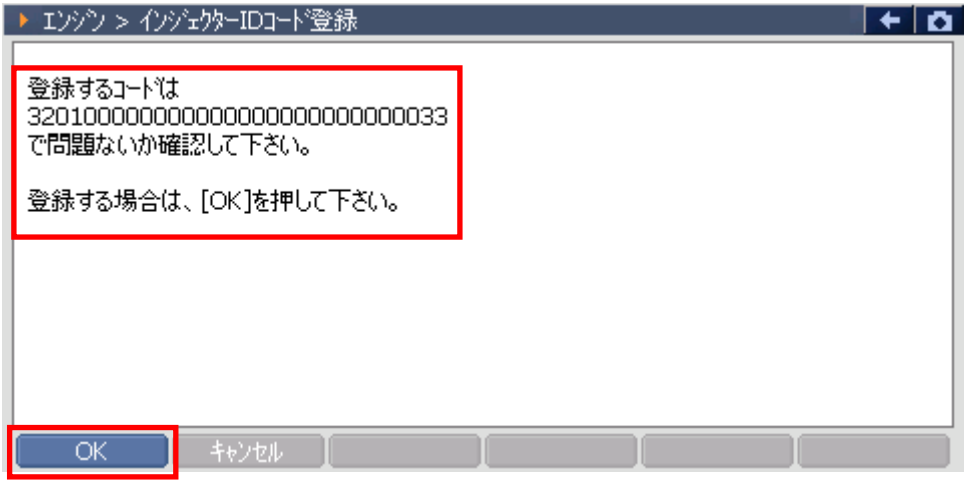
〈図：IDコード入力画面　インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

IDコードを入力することでインジェクターの噴射量精度が向上し、排気ガス削減や出力が安定します。インジェクター上部に下記のようにIDコードが刻印されています。

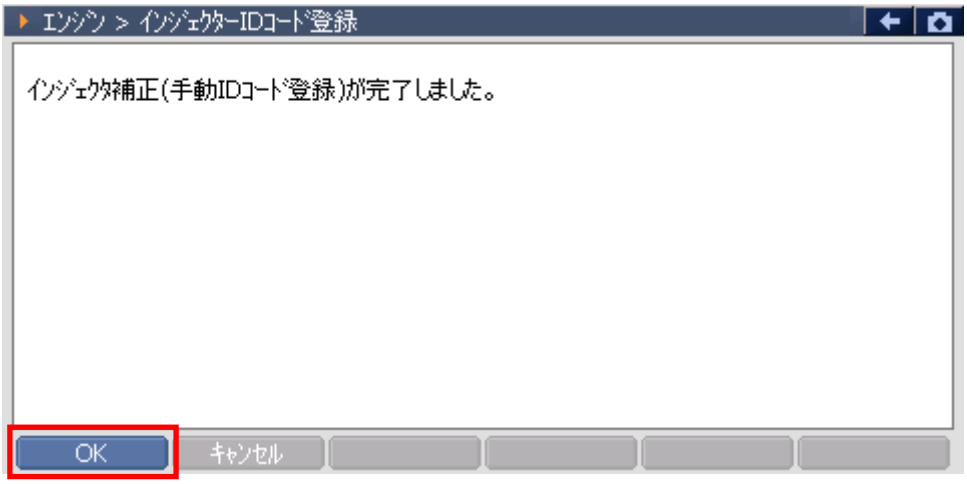


5）入力したIDコードが正しければ Ok ボタンを押してください。ボタンを押すとECUにインジェクターIDコードを書込みます。



〈図：IDコード確認画面　インジェクターIDコード登録〉

6）書込み完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してインジェクターIDコード登録を終了します。



〈図：完了画面　インジェクターIDコード登録〉

※注意と補足※

誤ったインジェクターIDコードを入力しますと登録されませんのでご注意ください。

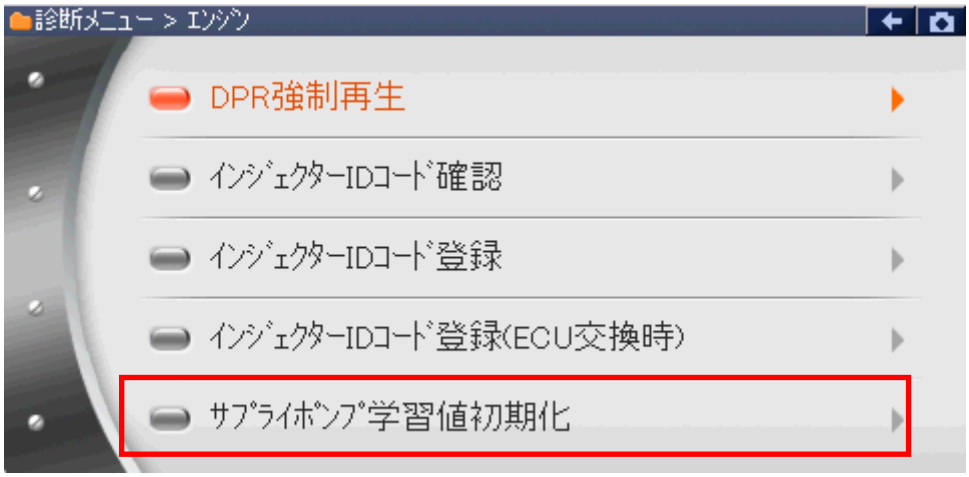
≪作業サポート「インジェクターIDコード登録(ECU交換時)」≫

※注意と補足※

- ECUを交換した際に行う作業です。
- 基本的な作業の流れは「インジェクターIDコード登録」と同様となります。

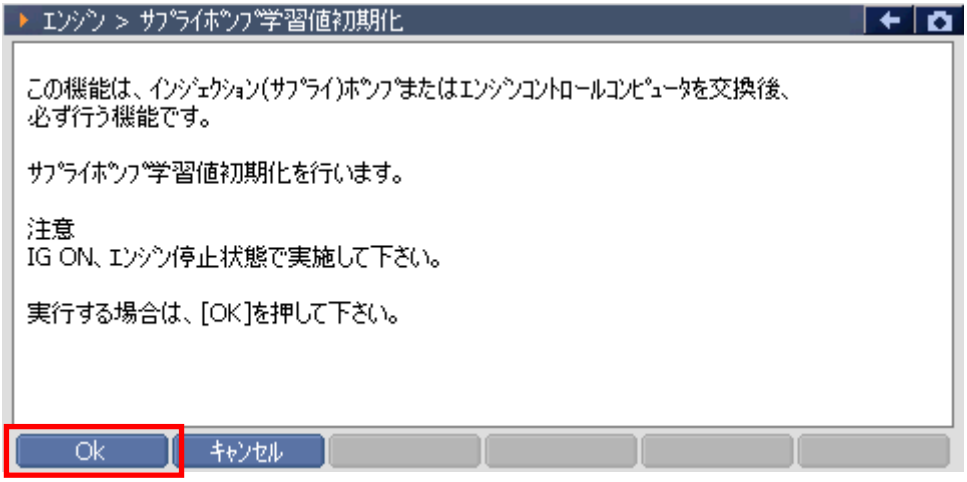
≪作業サポート「サプライポンプ学習値初期化」≫

1）作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して ENTER ボタンを押してください。



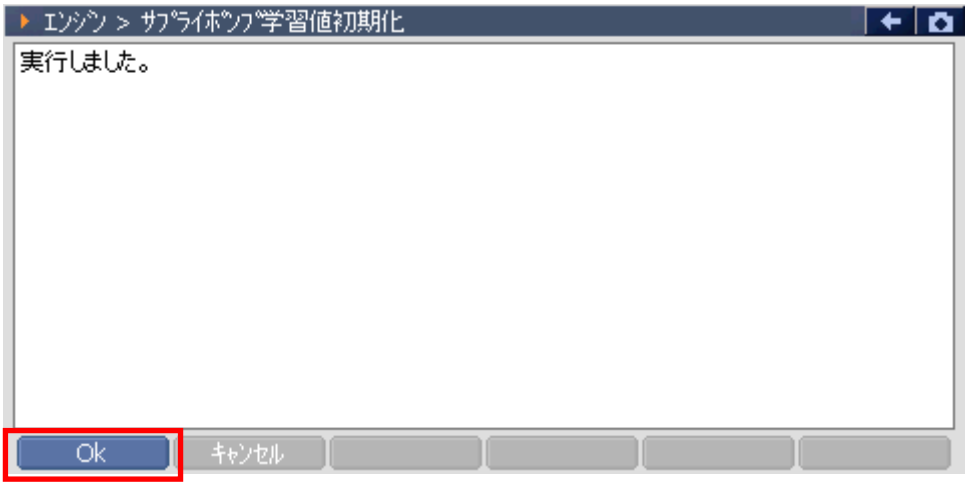
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『サプライポンプ学習値初期化』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　サプライポンプ学習値初期化〉

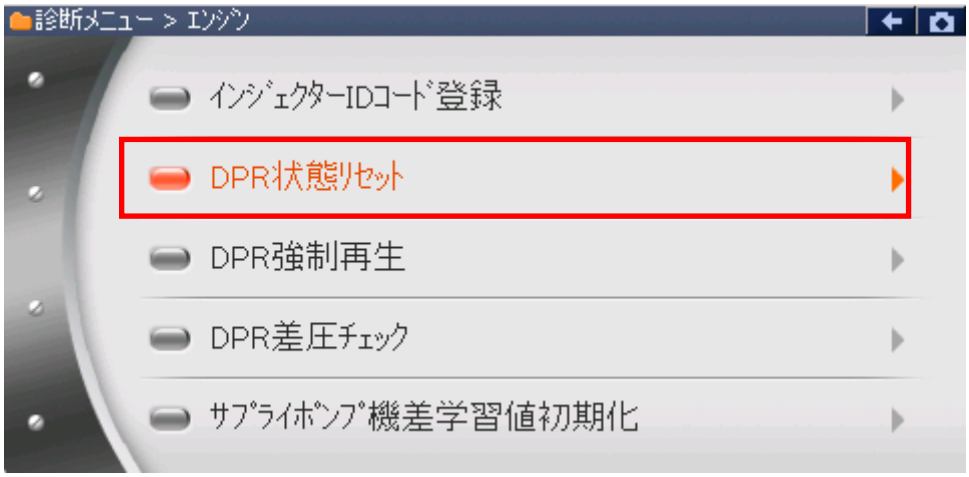
3）初期化完了のメッセージが表示されます。Ok ボタンを押してサプライポンプ学習値初期化を終了します。



〈図：確認メッセージ画面　サプライポンプ学習値初期化〉

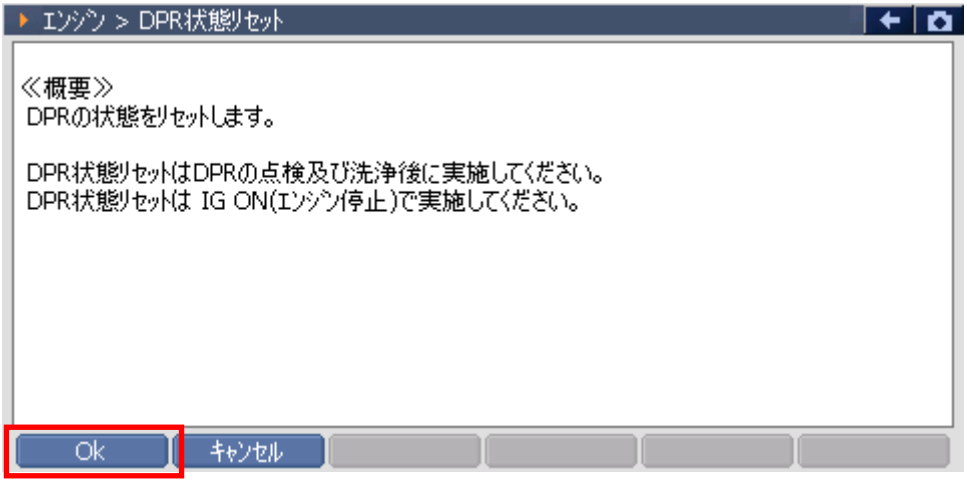
≪作業サポート「DPR状態リセット」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPR状態リセット』を選択して ENTER ボタンを押してください。



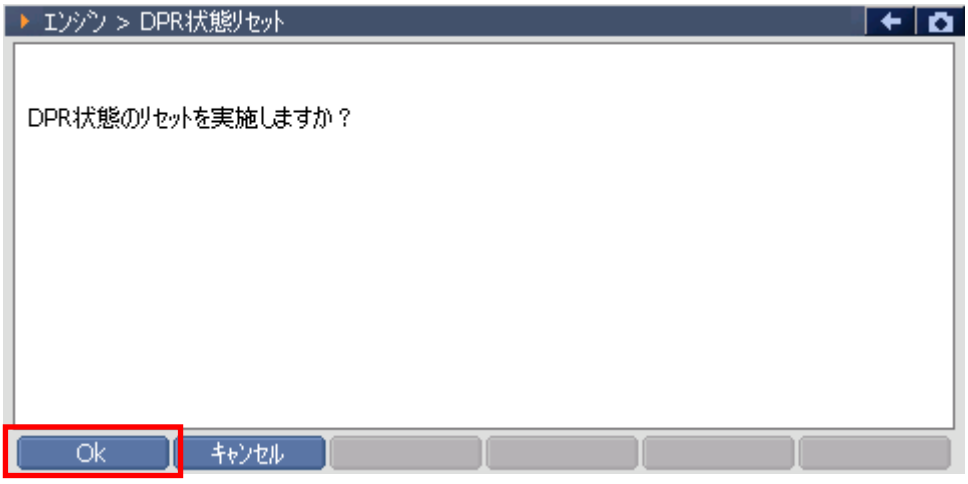
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR状態リセット』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



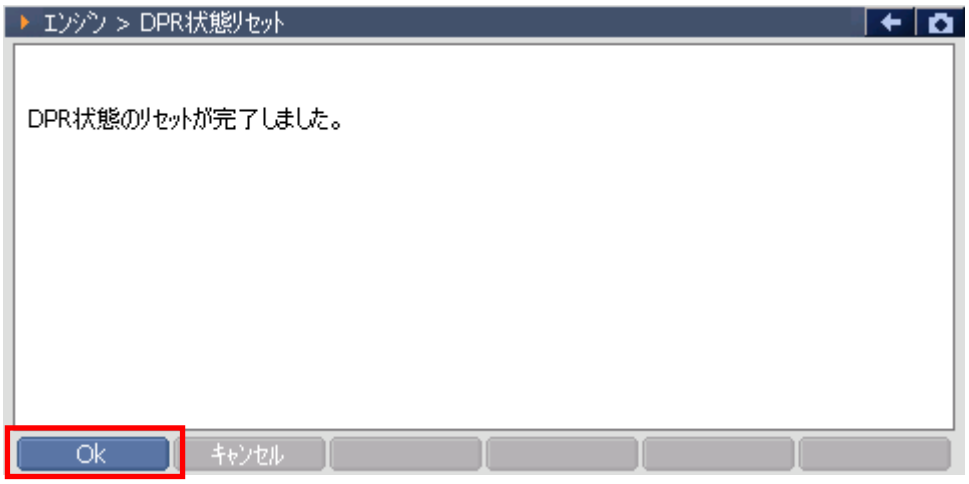
〈図：確認メッセージ画面　DPR状態リセット〉

3）実施確認のメッセージが表示されます。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　DPR状態リセット〉

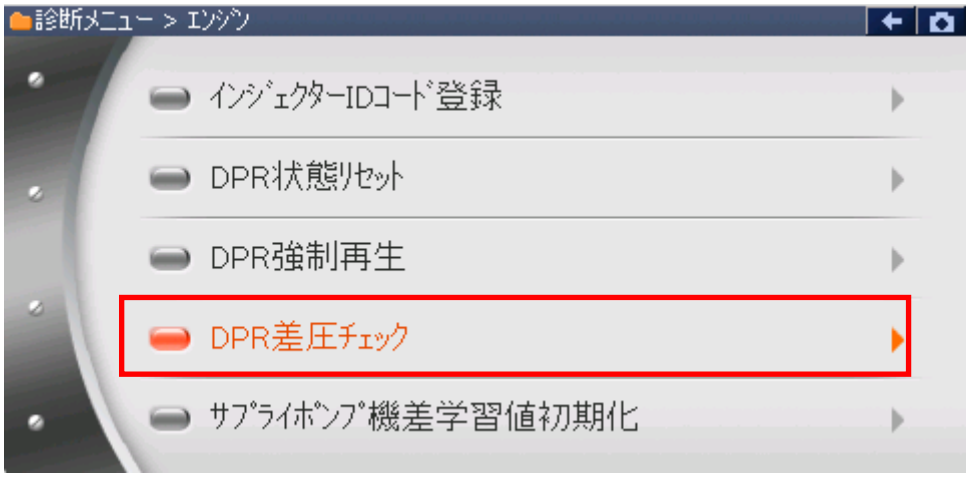
4）リセット完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してDPR状態リセットを終了します。



〈図：完了メッセージ画面　DPR状態リセット〉

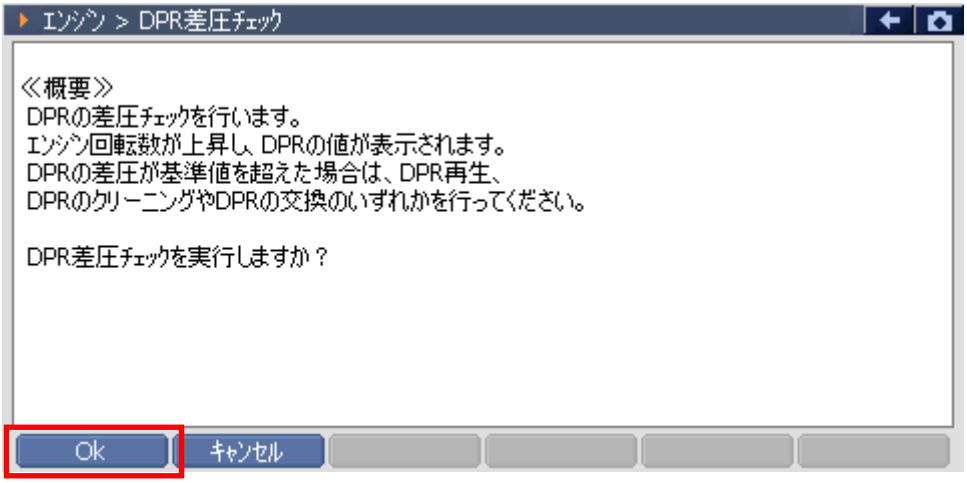
≪作業サポート「DPR差圧チェック」≫

1）作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ学習値初期化』を選択して ENTER ボタンを押してください。



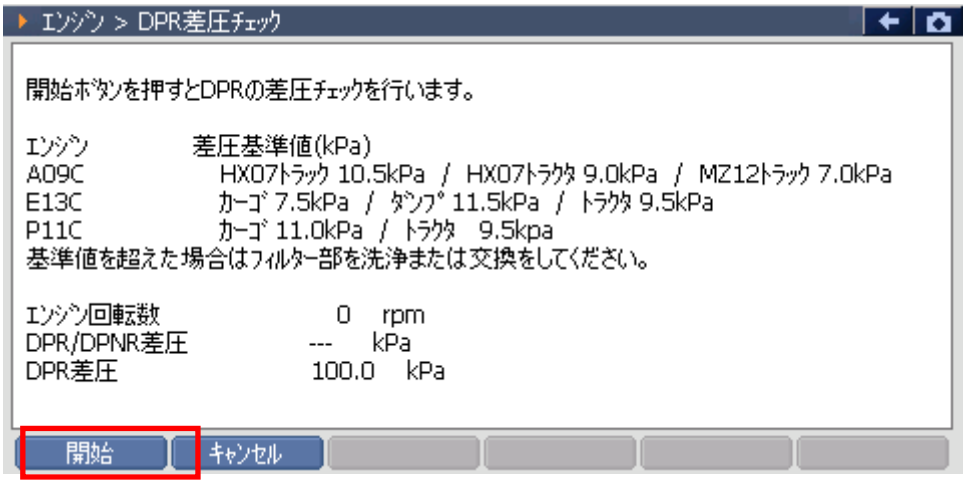
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR差圧チェック』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



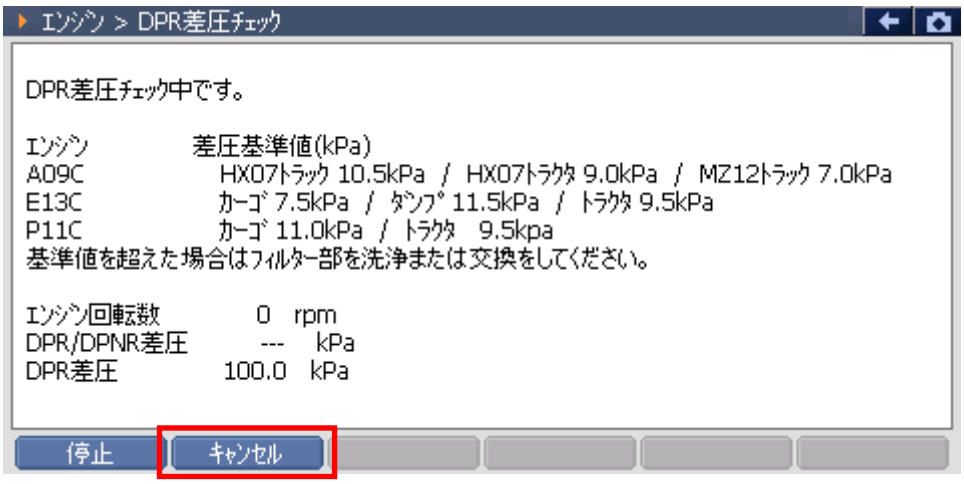
〈図：確認メッセージ画面　DPR差圧チェック〉

3）DPR差圧状態が表示されます。 実行 ボタンを押すとエンジン回転数が上がりDPR差圧が上昇します。



〈図：モニター画面　DPR差圧チェック〉

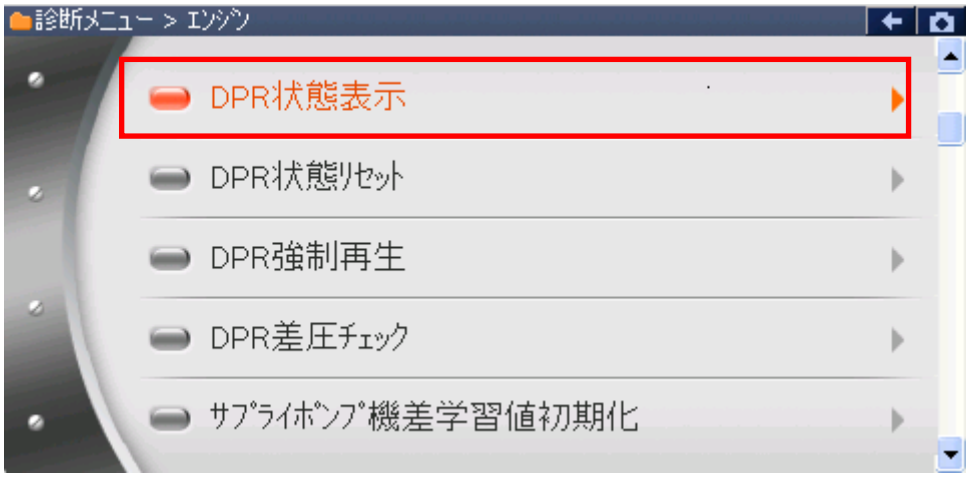
4） 停止 ボタンを押すとエンジン回転数が下がりチェックが終了します。DPR差圧が上昇します。終了する場合は キャンセル ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　DPR差圧チェック〉

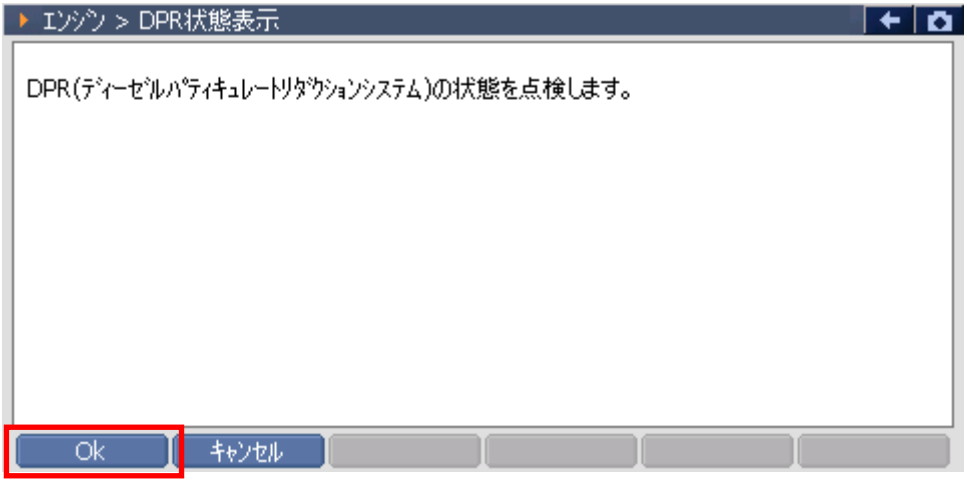
≪作業サポート「DPR状態表示」≫

1）作業サポート項目選択画面から『DPR状態表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。



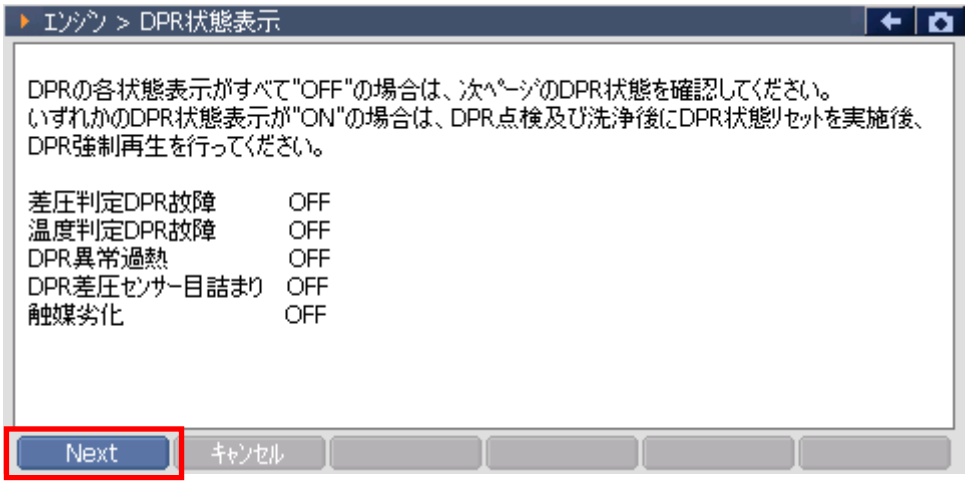
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPR状態表示』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



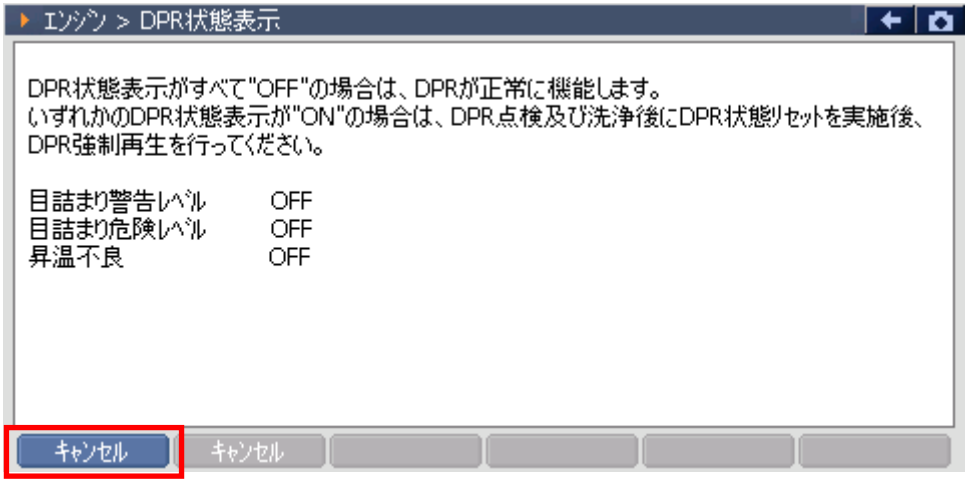
〈図：確認メッセージ画面　DPR状態表示〉

3) 各DPRに関係するデータを表示します。次の項目を表示させる場合には Next ボタンを押してください。



〈図:モニター画面　DPR状態表示〉

4) キャンセル ボタンを押すとDPR状態表示を終了します。



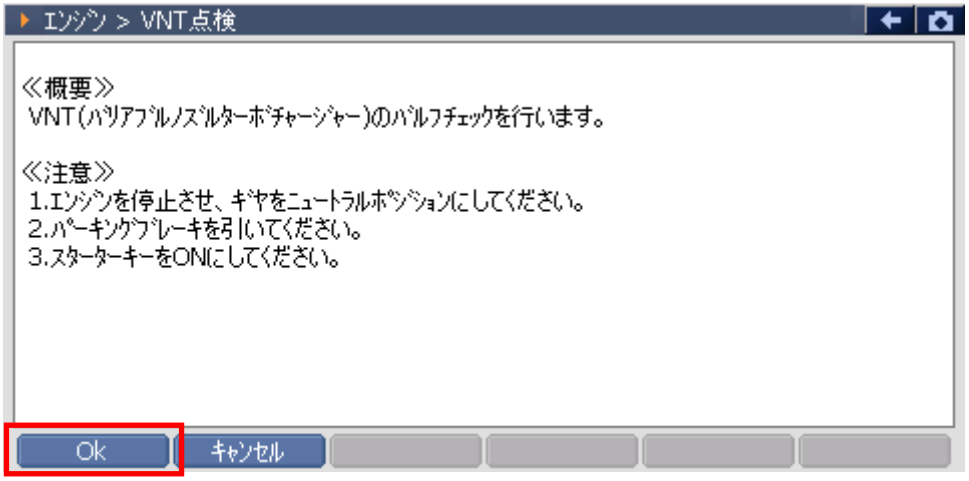
〈図:モニター画面　DPR状態表示〉

≪作業サポート「VNT点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『VNT点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。

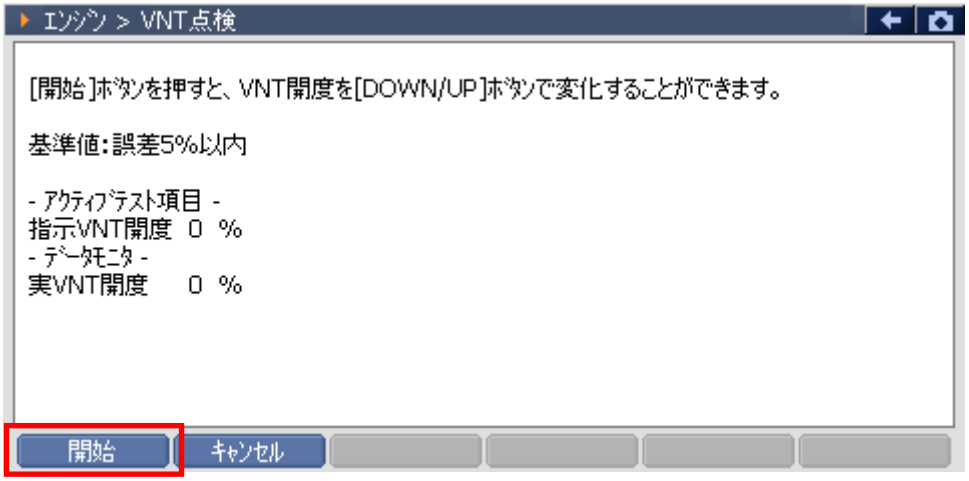
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『VNT点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



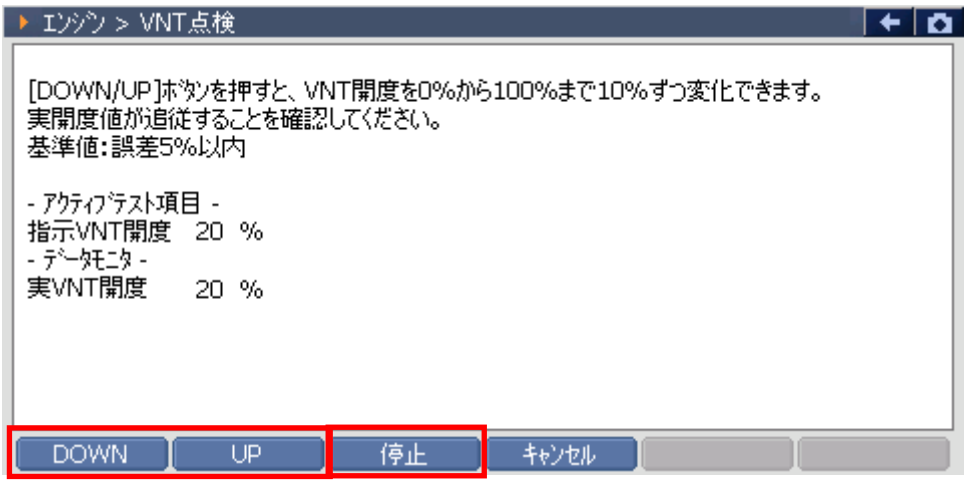
〈図：確認メッセージ画面　VNT点検〉

3）VNTのテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　VNT点検〉

4） DOWN UP ボタンでVNTの開度を変更することができます。VNT点検を終了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。



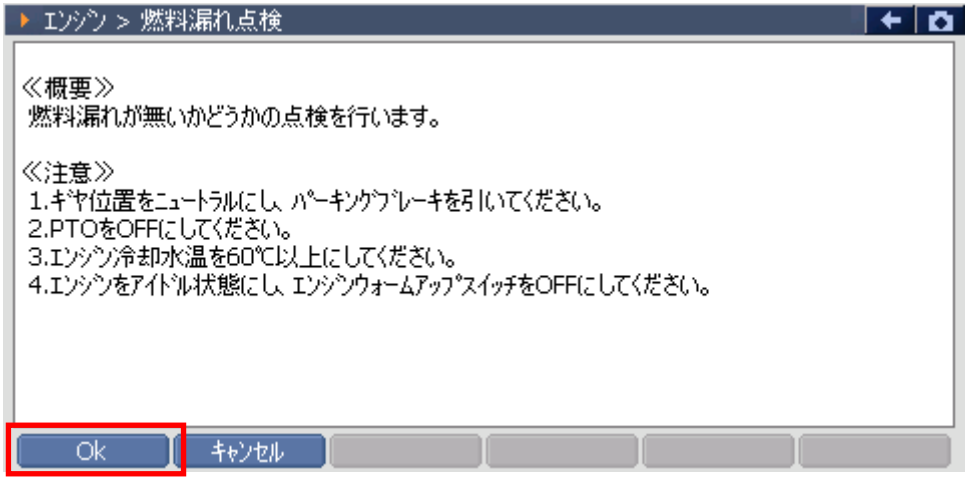
〈図：モニター画面　VNT点検〉

≪作業サポート「燃料漏れ点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『燃料漏れ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。

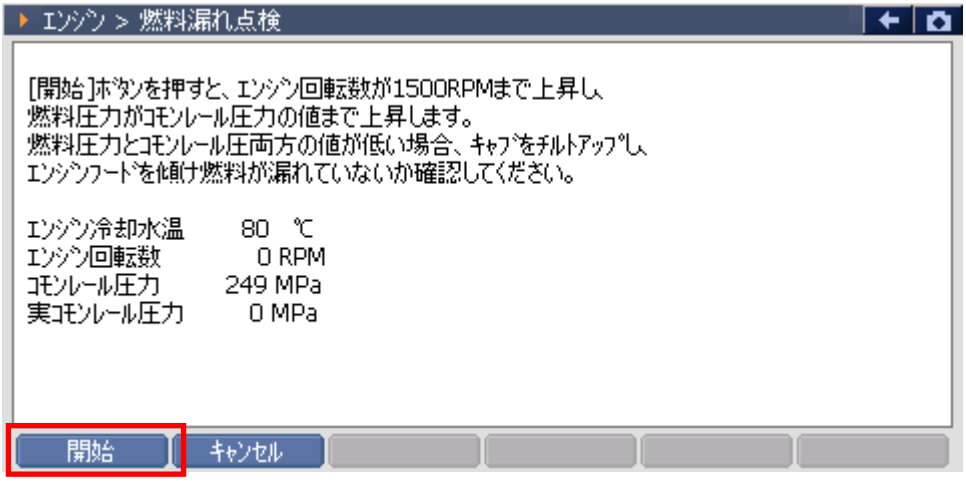
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『燃料漏れ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　燃料漏れ点検〉

3）燃料漏れ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　燃料漏れ点検〉

4）エンジン回転数が上昇し、燃料圧力、実コモンレール圧力が上昇します。燃料漏れ点検を終了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。

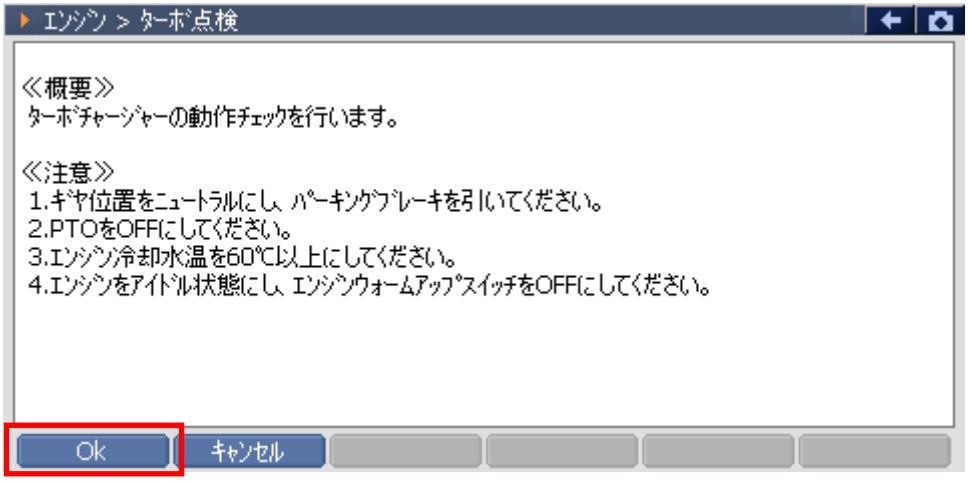
〈図：モニター画面　燃料漏れ点検〉

≪作業サポート「ターボ点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『ターボ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。

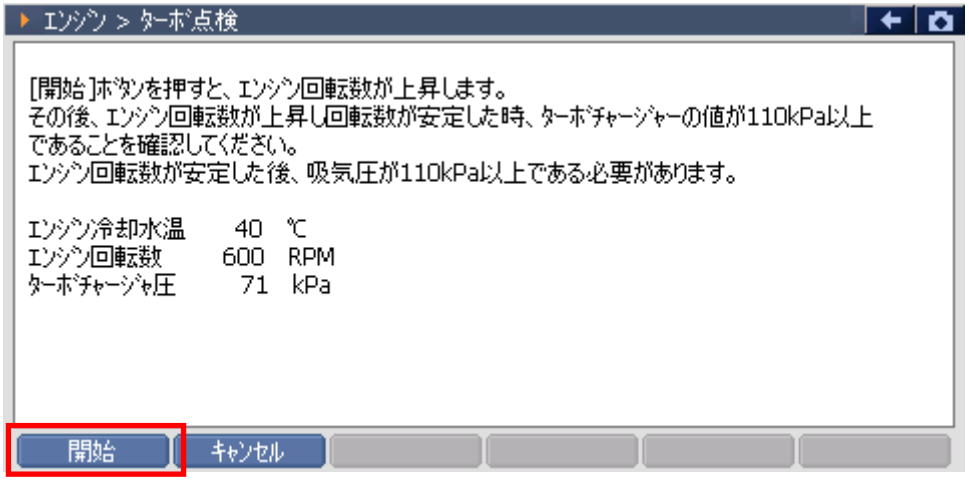
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『ターボ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



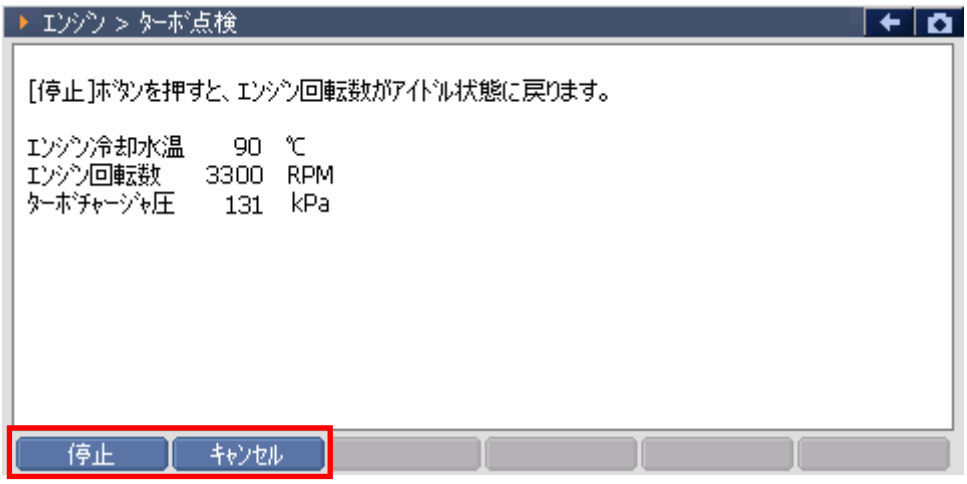
〈図：確認メッセージ画面　ターボ点検〉

3）ターボ点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　ターボ点検〉

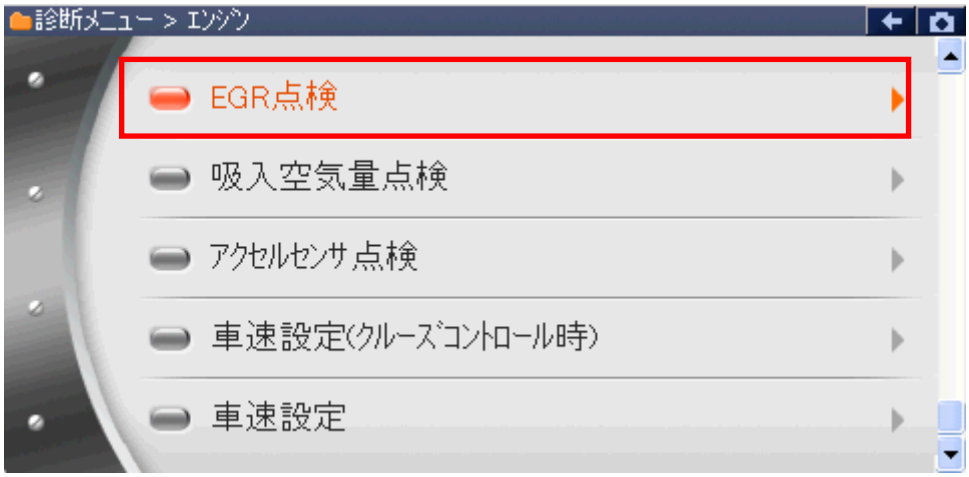
4）エンジン回転数が上昇し、ターボチャージャー圧が上昇します。ターボ点検を終了する場合には 停止 または キャンセル ボタンを押してください。



〈図：モニター画面　ターボ点検〉

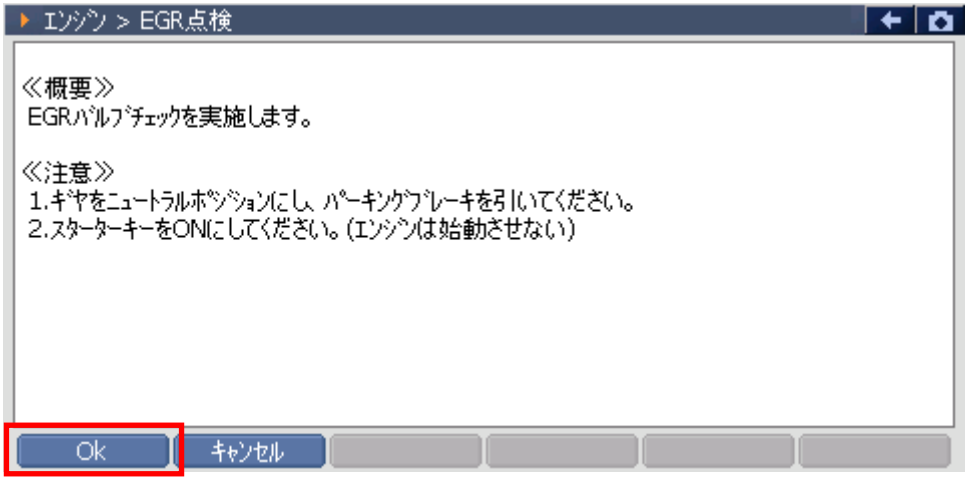
≪作業サポート「EGR点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『EGR点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

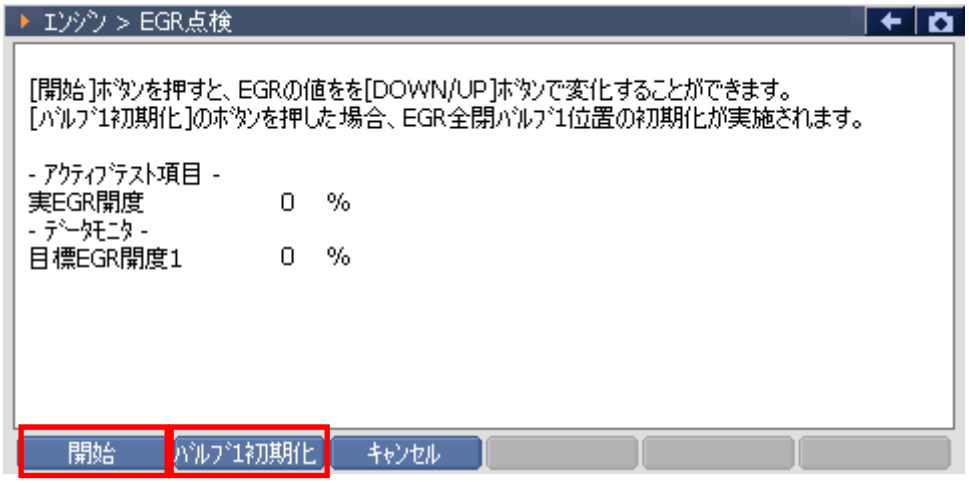
2）『EGR点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　EGR点検〉

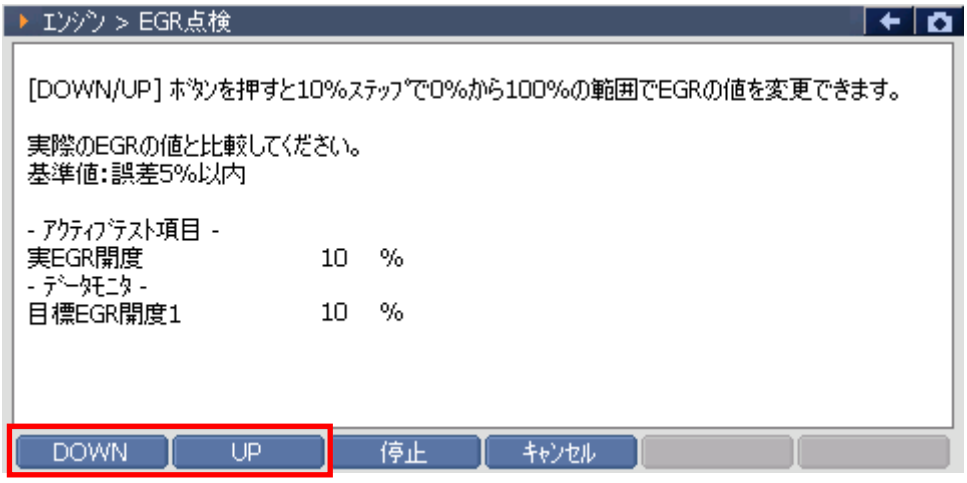
3) EGR点検のテストを開始する場合には 開始 ボタンを押してください。

ﾊﾞﾙﾌﾞ1初期化 ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。



〈図:モニター画面　EGR点検〉

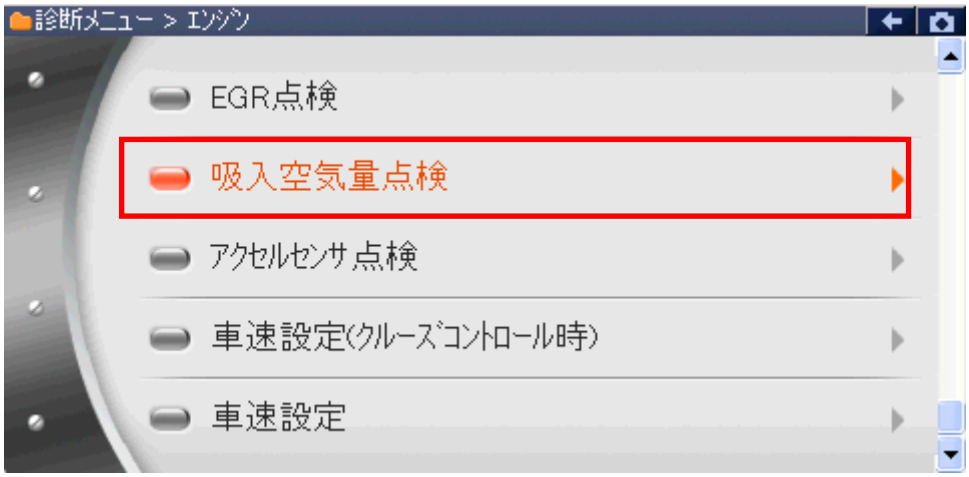
4) DOWN UP ボタンでEGRの開度を変更することができます。EGRの点検を終了する場合には 停止 または ｷｬﾝｾﾙ ボタンを押してください。



〈図:モニター画面　EGR点検〉

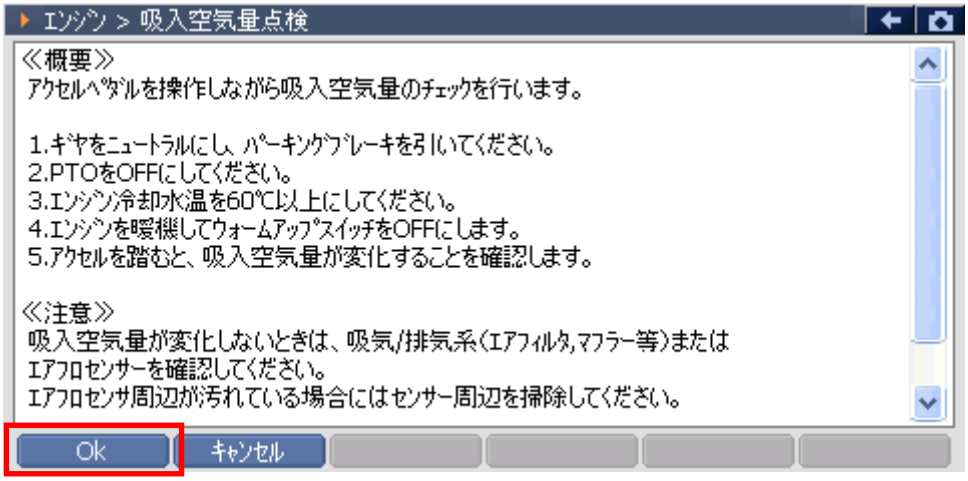
≪作業サポート「吸入空気量点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『吸入空気量点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



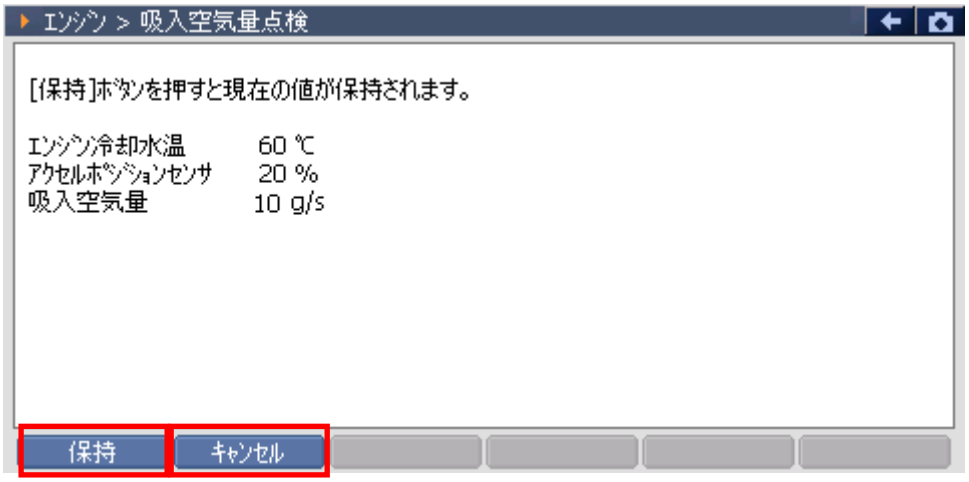
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『吸入空気量点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



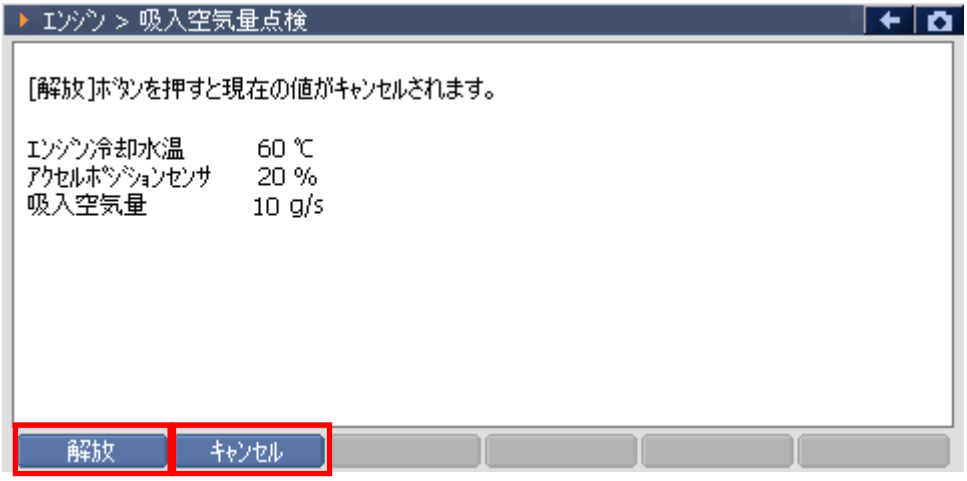
〈図：確認メッセージ画面　吸入空気量点検〉

3) アクセルを踏み込むことによって吸入空気量が変化します。現在の値を保持する場合には 保持 ボタンを押してください。 ﾊﾞﾙﾌﾞ1初期化 ボタンを押すとEGR全閉バルブ1の初期化を実施します。



〈図：モニター画面　吸入空気量点検〉

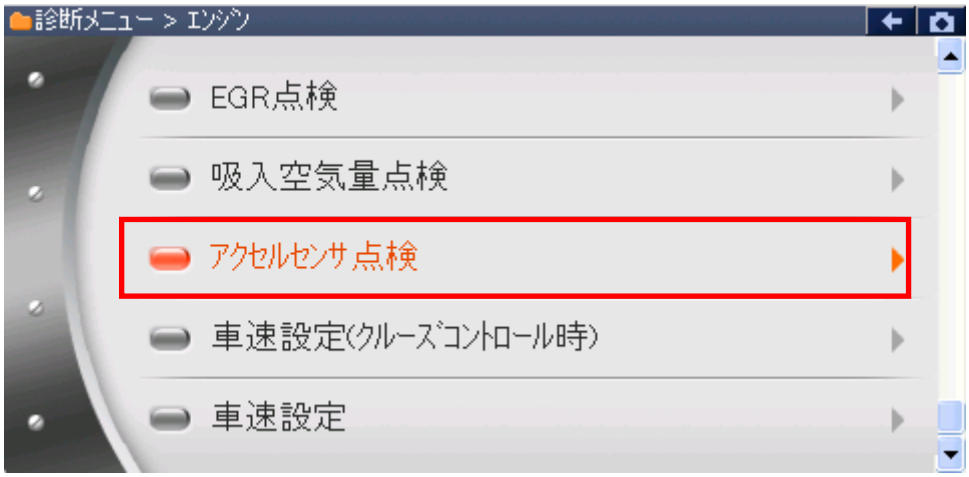
4) 保持 ボタンを押したときの値が表示されます。 解放 ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合には ｷｬﾝｾﾙ ボタンを押してください。



〈図：データ保持画面　吸入空気量点検〉

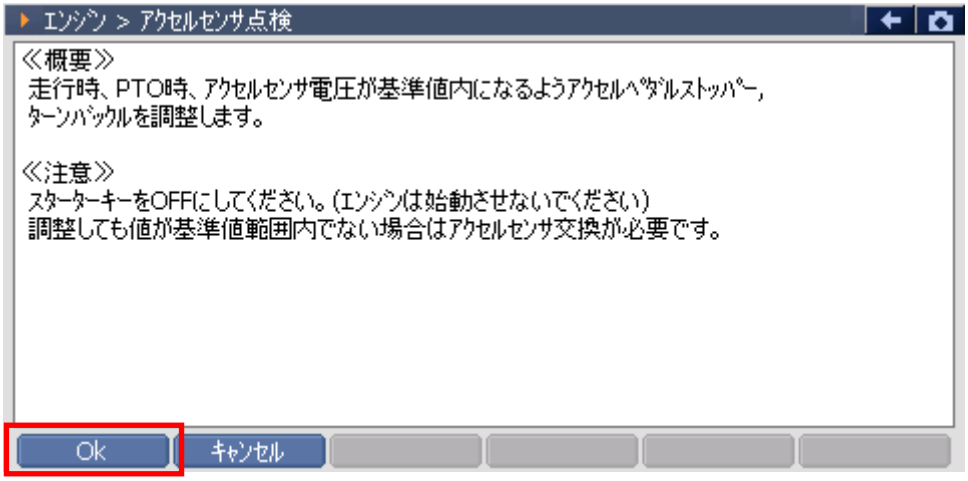
≪作業サポート「アクセルセンサ点検」≫

1）作業サポート項目選択画面から『アクセルセンサ点検』を選択して ENTER ボタンを押してください。



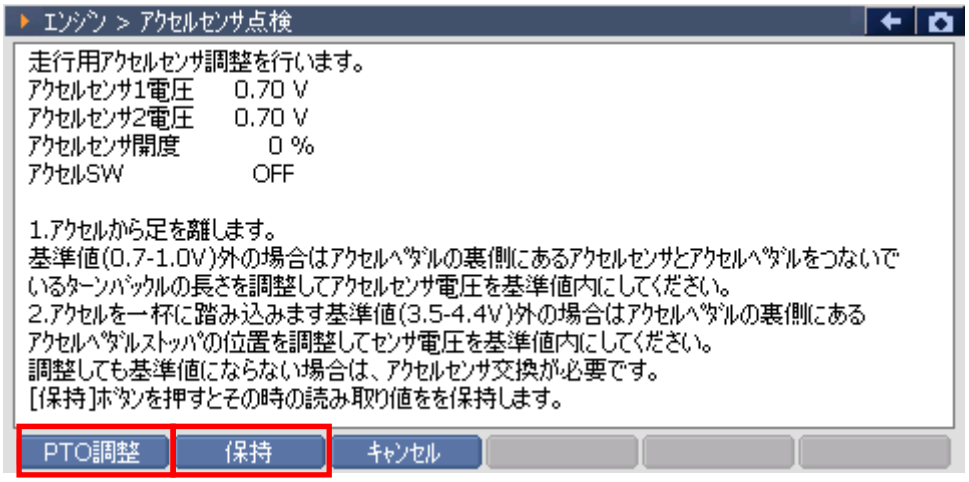
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『アクセルセンサ点検』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



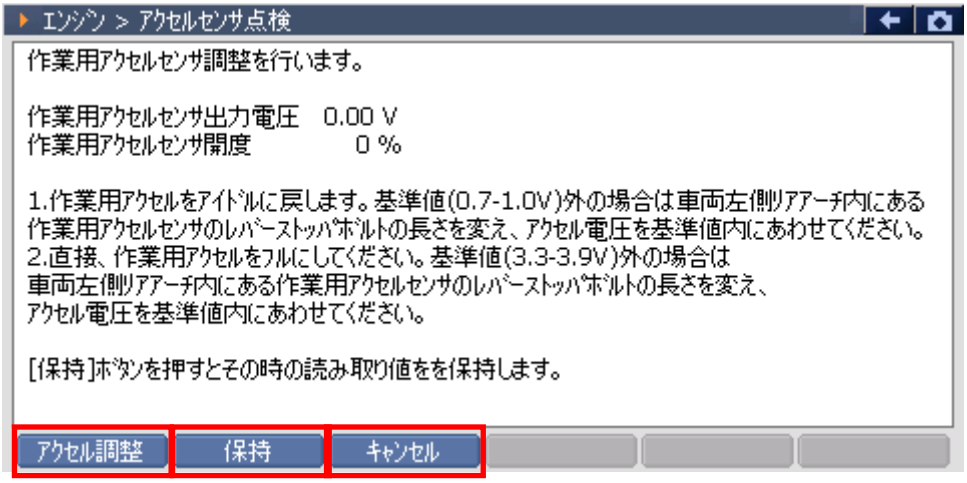
〈図：確認メッセージ画面　アクセルセンサ点検〉

3) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する場合には 保持 ボタンを押してください。 PTO調整 ボタンを押すとPTO時のアクセルセンサの点検を行えます。



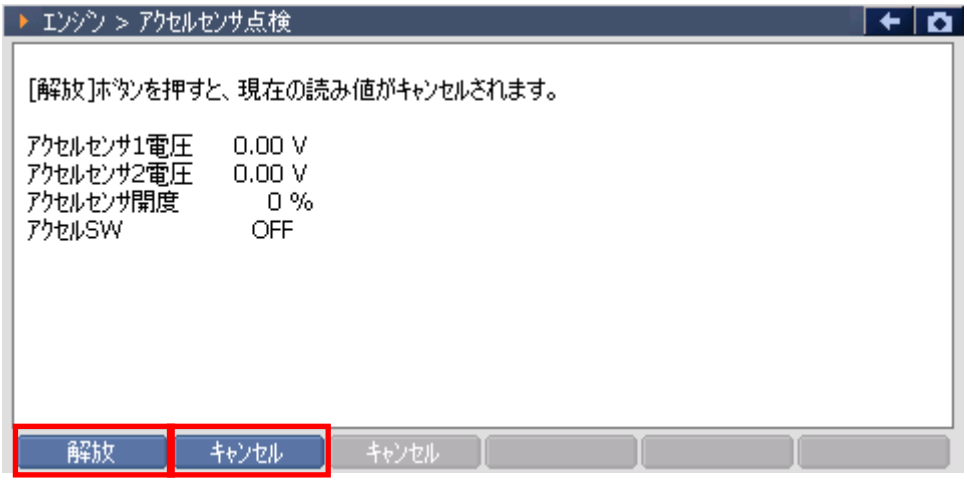
〈図:モニター画面　アクセルセンサ点検〉

4) 走行時のアクセルセンサに関係するデータが変化します。現在の値を保持する場合には 保持 ボタンを押してください。点検を終了する場合には キャンセル ボタンを押してください。 アクセル調整 ボタンを押すと走行時のアクセルセンサ点検に戻ります。

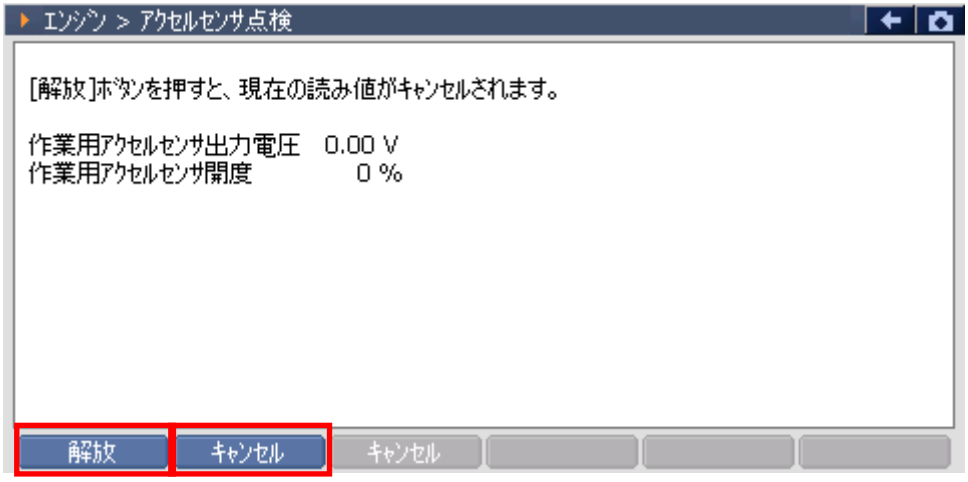


〈図:データ保持画面　吸入空気量点検〉

5) 保持ボタンを押すと、ボタンを押したときの値が表示されます。解放ボタンを押すと再度モニター画面移行します。点検を終了する場合にはキャンセルボタンを押してください。



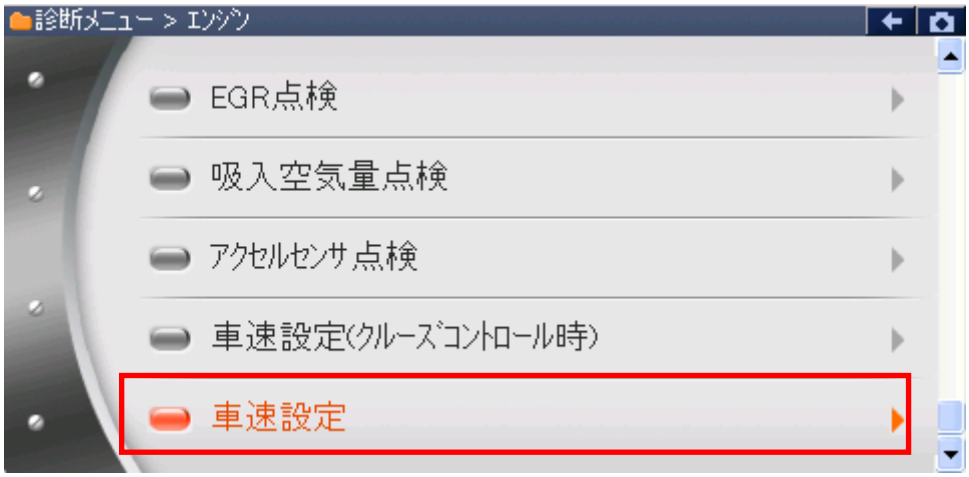
〈図:走行時データ保持画面　アクセルセンサ点検〉



〈図:PTO時データ保持画面　アクセルセンサ点検〉

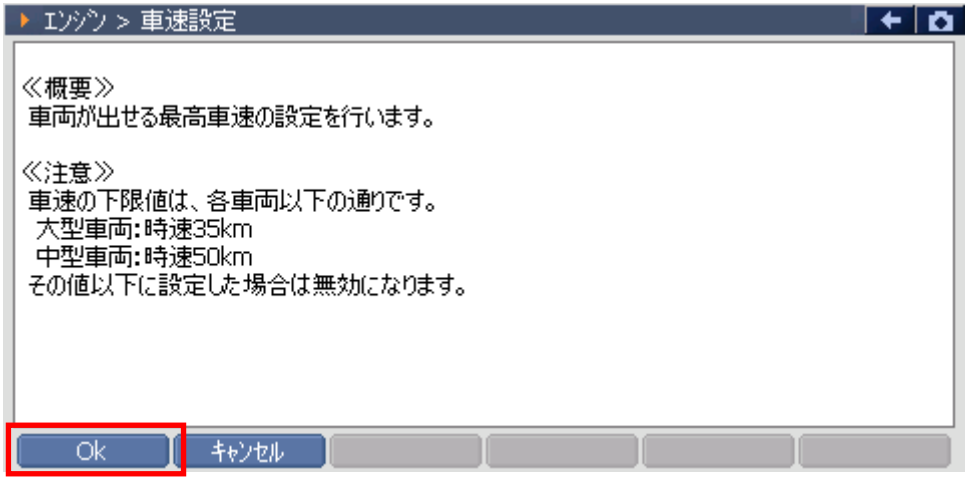
≪作業サポート「車速設定」≫

1）作業サポート項目選択画面から『車速設定』を選択して ENTER ボタンを押してください。



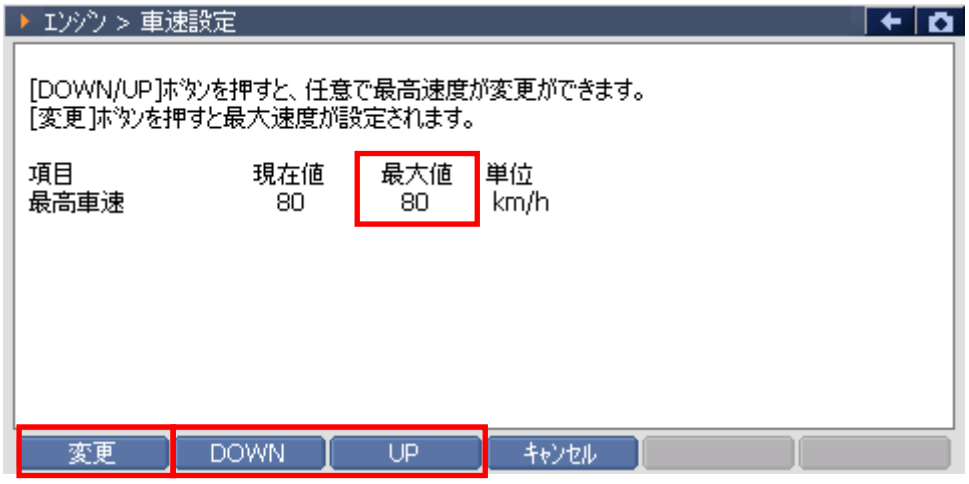
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『車速設定』のメッセージ画面に移ります。メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



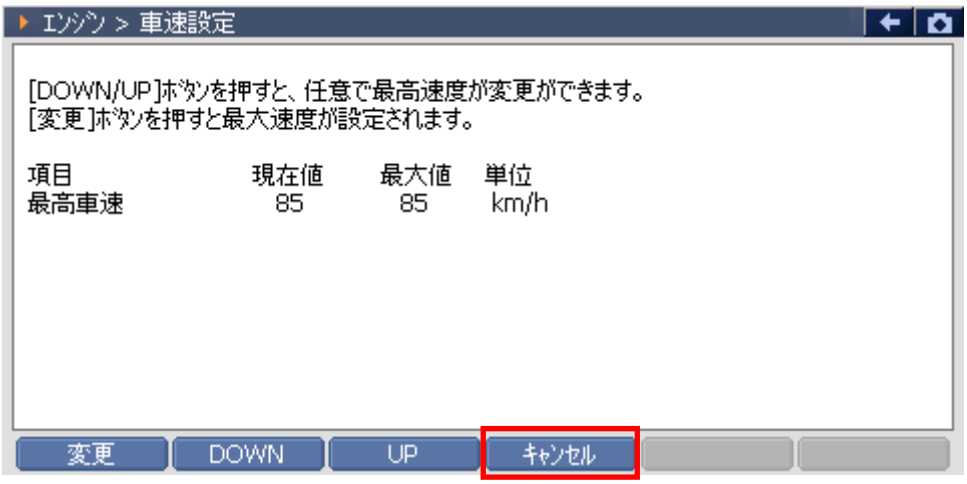
〈図：確認メッセージ画面　車速設定〉

3) DOWN UP ボタンで車速値を変更することができます。変更ボタンを押すと最大値に表示されている値を設定します。



〈図:モニター画面　車速設定〉

4) 車速設定を終了する場合はキャンセルボタンを押してください。



〈図:モニター画面　車速設定〉

≪作業サポート「車速設定(クルーズコントロール時」≫

※注意と補足※

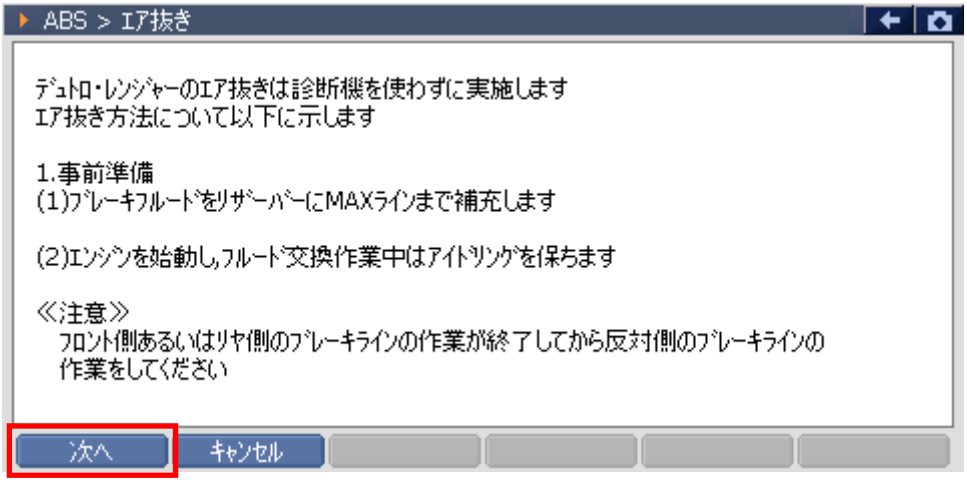
・　基本的な作業の流れは「車速設定」と同様となります。

≪作業サポート「エア抜き」≫

1）作業サポート項目選択画面から『エア抜き』を選択して ENTER ボタンを押してください。

〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『エア抜き』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、次へ ボタンを押して作業を進めてください。



〈図：メッセージ画面　エア抜き〉

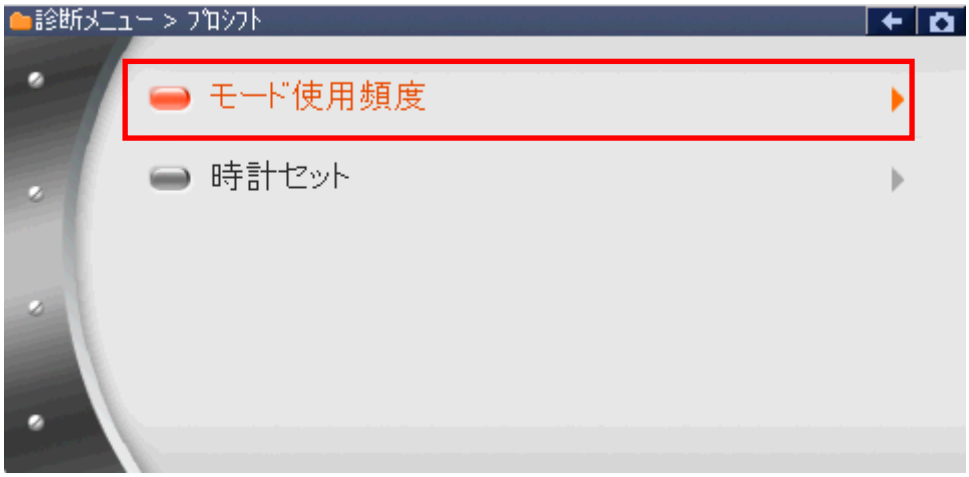
※注意と補足※

デュトロ、レンジャーのエア抜きは診断機を使わずに実施します。

実施方法に従い作業をしてください。

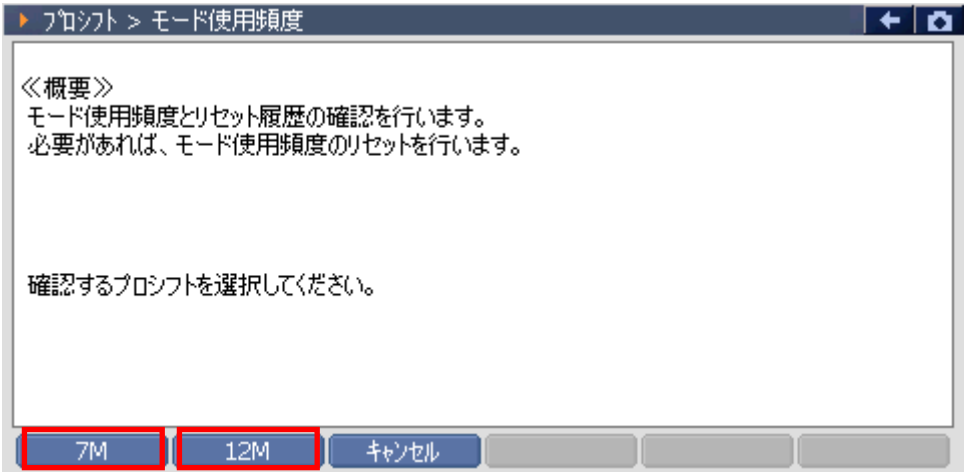
≪作業サポート「モード使用頻度」≫

1）作業サポート項目選択画面から『モード使用頻度』を選択して ENTER ボタンを押してください。



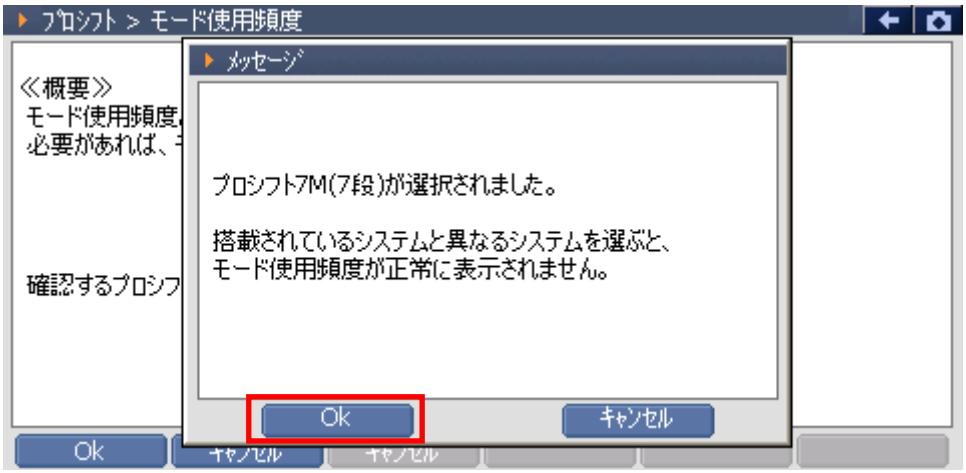
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『モード使用頻度』の概要が表示されます。搭載されているプロシフトを確認し、7M または 12M ボタンを押して作業を進めてください。



〈図：メッセージ画面　モード使用頻度〉

3）メッセージ画面が表示されますので、 Ok ボタンを押してください。

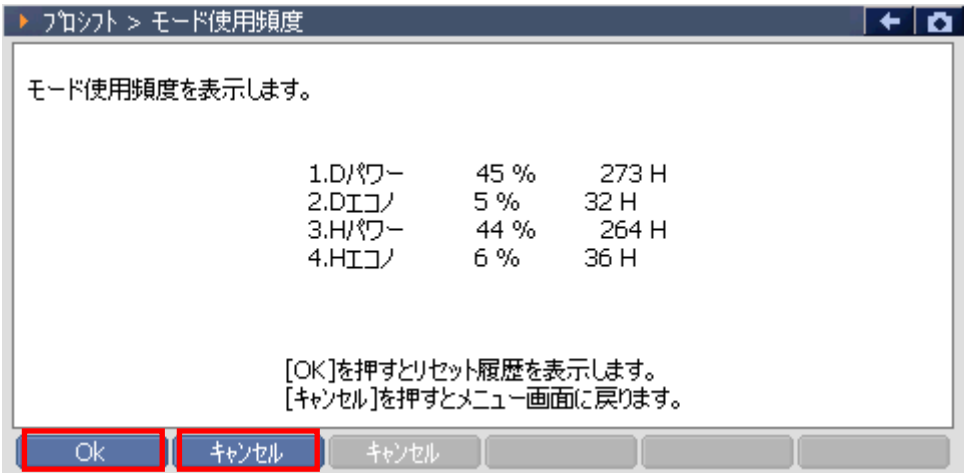


〈図：システム確認画面　モード使用頻度〉

4）モード使用頻度が表示されます。

リセット履歴を確認する場合は Ok ボタンを押してください。

モード使用頻度の確認のみの場合は ｷｬﾝｾﾙ ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

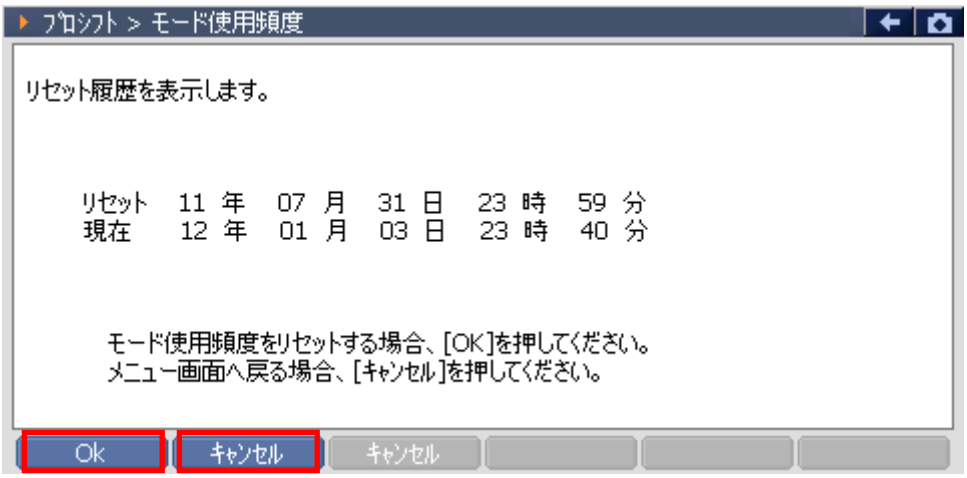


〈図：確認画面　モード使用頻度〉

5) リセット履歴が表示されます。

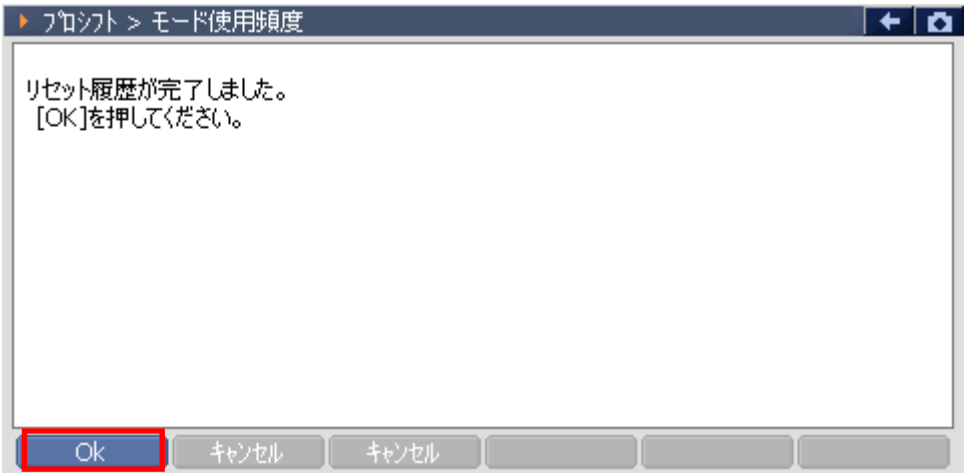
モード使用頻度をリセットする場合は Ok ボタンを押してください。

リセット履歴の確認のみの場合は キャンセル ボタンを押してメニュー画面に戻ります。



〈図:リセット履歴確認画面　モード使用頻度〉

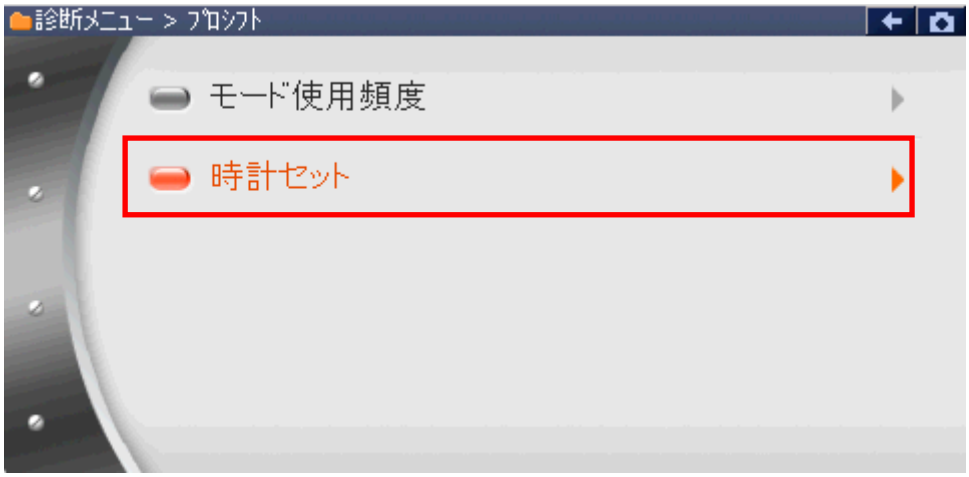
6) リセット履歴が完了したら Ok ボタンを押してください。



〈図:リセット履歴完了画面　モード使用頻度〉

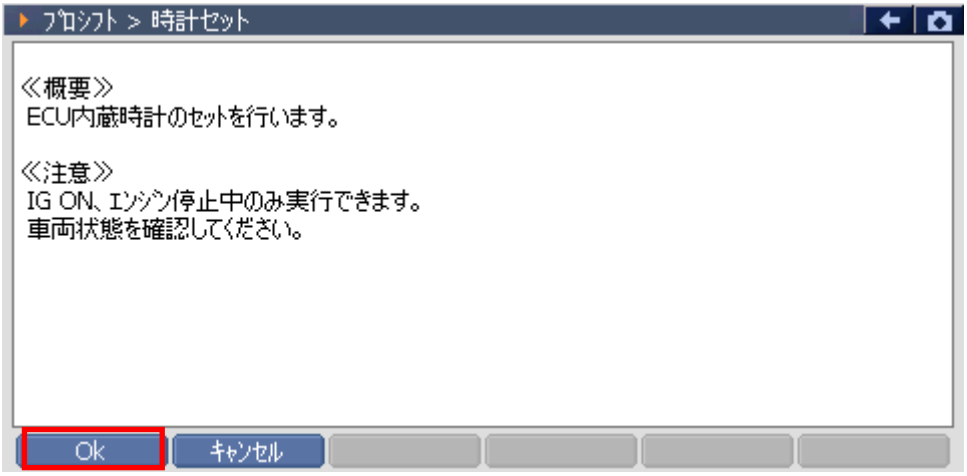
≪作業サポート「時計セット」≫

1）作業サポート項目選択画面から『時計セット』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

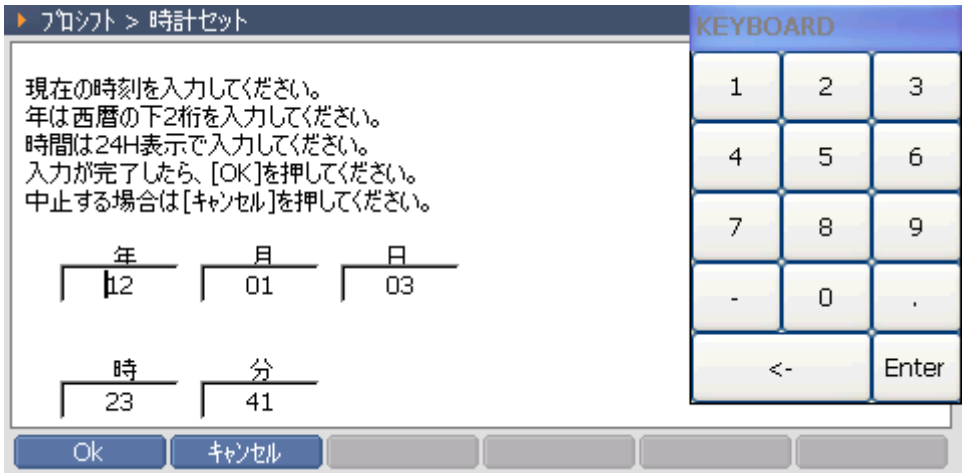
2）『時計セット』の実施方法が表示されますので、実施方法をご確認いただき、Ok ボタンを押して作業を進めてください。



〈図：メッセージ画面　時計セット〉

3) ECUに内蔵された現在の時刻が表示されます。

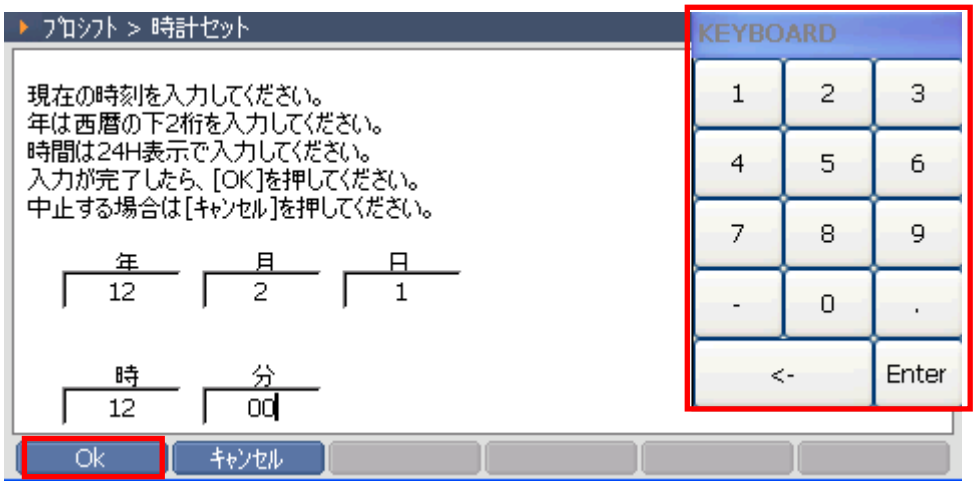
この場合は 2012年1月3日23時41分 を示しています。



〈図:ECU内蔵時刻表示 時計セット〉

時刻を修正する場合は、下の修正画面を参考にKEYBOARDを押して正しい時刻を入力してください。この場合は 2012年2月1日12時00分 を示しています。

入力が終了したら、 Ok ボタンを押して作業を進めてください。



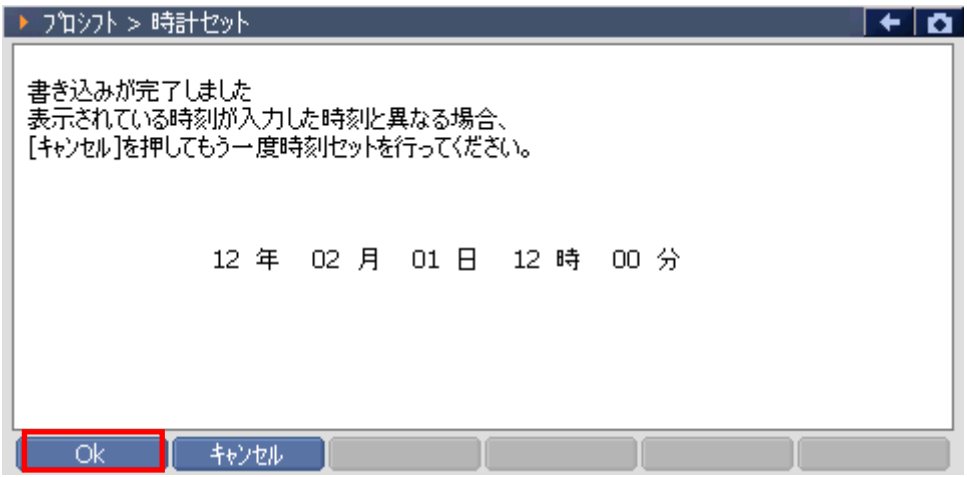
〈図:修正画面 時計セット〉

4）書き込み中の画面が表示されます。

〈図：メッセージ画面　時計セット〉

5）セットされた時刻が表示されます。

入力された時刻が正しく表示されていれば Ok ボタンを押して時計セットを終了します。



〈図：メッセージ画面　時計セット〉

株式会社 インターサポート

〒310-0803

茨城県水戸市城南1丁目6番39号

Tel 029-303-8021　Fax 029-303-8022

https://www.inter-support.co.jp

https://g-scan.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 0570-064-737 → ②（ナビダイヤル※）

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 → ①（ナビダイヤル※）

Fax 029-303-8055

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2021年6月発行　第18版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-16-18